

第五十九回 帝國議會 衆議院

## 抵當證券法案外九件委員會議錄(速)第五回

出席委員左ノ如シ	司法省民事局長 長島 豪君
委員長 荒川 五郎君	○長島政府委員 二十一條ト二十二條 本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ 抵當證券法案(政府提出)
理事 小峰 滿男君	不動産登記法中改正法律案(政府提出) 民事訴訟法中改正法律案(政府提出)
理事 篠原 陸朗君	競賣法中改正法律案(政府提出)
理事 勝田 永吉君	民事訴訟用印紙法中改正法律案(政 府提出)
理事 大崎 順作君	日本勸業銀行法中改正法律案(政府 提出)
理事 板谷 順助君	農工銀行法中改正法律案(政府提出)
小村 俊一君	北海道拓殖銀行法中改正法律案(政 府提出)
藍川 清成君	○荒川委員長 是ヨリ抵當證券法案外 同日無盡業法改正法律案(政府提出)ノ 審査ヲ本委員ニ付託セラレタリ
本多眞喜雄君	九件ノ委員會ヲ續行政シマス、前回ニ 出席政府委員左ノ如シ
山田 又司君	二條、三條、四條ハ、證券ノ再交付ニ 關スル規定デアリマスカラ、此二十四
磯部 清吉君	議が進行シテ居リマス、第二十一條、 二條マデヲ一括シテ審議ニ付シマス、政 府委員ノ説明ヲ求メマス
石崎 敏行君	大藏政務次官 小川郷太郎君
中田 駿郎君	大藏參與官 勝 正憲君
出席政府委員左ノ如シ	大藏省主稅局長 青木 得三君
大藏省銀行局長 大久保慎次君	大藏省銀行局長 大久保慎次君

出席委員左ノ如シ	ケマシテ、ソレカラ色々ノ添付書類等 ヲ出スコトニナルノデアリマス、申請 書ニハ舊ノ證券ノ記載事項ハ全部之ヲ 書キマスケレドモ、其他ニ、其後ノ變 更ニナリマシタ事項モ一緒ニ書クノデ アリマス、例へバ其後ニナリマシテ、 抵當ノ目的物ガ一部減ッタトカ、或ハ一 部ノ辨濟ガアリマシタヤウナコトハ、 全部ソコヘ書クノデアリマス、斯ノ如 ク致シマシテ、更ニ催告ヲ致シマス、 此證券ヲ新シク發行スル時ト同ジヤウ ニ催告ヲ致シマシテ、異議ガアルカド ウカト云フコトヲ確メテ、異議ガナイ ヤウニナリマスレバ、ソコデ證券ヲ發 行致シマス、其發行致シマス證券ハ、 前ニ無クナッタ證券ト全然同ジモノヲ 出スヤウニ致シテ居リマス、即チ初メ ノ證券ニ、色々其後ノ變更ノ記載ヲモ リマシタ場合ニハ、其變更ノ記載ヲモ ナシテ、其儘ソックリ之ヲ出スト云フ コトデアリマス
大藏政務次官 小川郷太郎君	ナリト宣言致シマシタ判決ノ勝本ヲ附 ノ再交付ノ規定デアリマスガ、是ハ一 ソレカラ第二十三條ハ、ヤハリ證券
大藏參與官 勝 正憲君	ナリト宣言致シマシタ判決ノ勝本ヲ附 ノ再交付ノ規定デアリマスガ、是ハ一 ソレカラ第二十三條ハ、ヤハリ證券
大藏省主稅局長 青木 得三君	ナリト宣言致シマシタ判決ノ勝本ヲ附 ノ再交付ノ規定デアリマスガ、是ハ一 ソレカラ第二十三條ハ、ヤハリ證券
大藏省銀行局長 大久保慎次君	ナリト宣言致シマシタ判決ノ勝本ヲ附 ノ再交付ノ規定デアリマスガ、是ハ一 ソレカラ第二十三條ハ、ヤハリ證券

當債權ノ免除ガアッタカ云フヤウナコトデ、其抵當ノ登記ガ抹消サレ、而シテ證券ガ登記所ニ取戻サレテシマツテ、後ニナリマシテ其抹消ガ無效デアッタ、或ハ辨濟ガ無效デアッタカ、免除ガ無效デアッタカ云フコトニナリマシテ、其抹消ガモウ一遍復活スルコトガアルノデアリマス、其場合ニハ更ニ證券ヲ出サネバナリマセヌ、ソコデ其事ヲ規定シテアルノデアリマス、詰リ抹消登記ヲ復活シタ場合ニ、一旦回収シタ證券ニ付テ、更ニモウ一度證券ヲ出スト云フ手續デゴザイマス

第二十四條ハ、抵當證券ノ發行ノアル場合ニハ滌除ノ規定ヲ適用シナイト云フ規定デゴザイマス、即チ民法ノ三百七十八條竝ニ三百八十一條乃至三百八十七條トアリマスノハ、是ガ滌除ノ規定デアリマス、滌除ノ點ニ付テハ、名川委員カラ本會議デ御質問ガアリマシタ、洵ニ御尤ノ御質問デアリマスガ、此「増價競賣登記件數」ト云フ表ニアリマスヤウニ、滌除ト云フモノガ實際ニ效果ヲ現ハシテ居ルコトハ非常ニ少イノデアリマス——前ニ滌除ノコトヲ一寸簡単ニ申上ゲタ方ガ宜イト思ヒスマガ、滌除ト申シマスノハ、抵當權ヲ愈々實行政シマス場合ニ、抵當權ノ設定後ニ、其抵當物ヲ譲リ受ケタ人、——マ

ダ他ノ人ガ少シアリマスガ、大體ハ讓リ受ケタ人ガ主デアリマスガ、抵當物ヲ讓リ受ケタ人ニナッテ居ルノデアリマス、ナラ又コトニナッテ居ルノデアリマス、當權ヲ實行スルゾト云フ通知ヲセネバ通知ヲ致シマスト、其抵當物ヲ讓リ受ケタ人間ガ、一定ノ法式ニ從ヒマシテ、自分ガ幾ラデ此物ヲ買ヒ受ケヤウ——自分ガ幾ラデ此抵當權ヲ除クト云フ値段ヲキメマシテ、幾ラト云フコトヲ申出スノデアリマス、其時ニ抵當權者ガ其値段デ満足スルトスレバ抵當權ガナクナリマスガ、満足ヲ致シマセヌト云フト、自分カラソレヨリモット高イ値デ賣レルト云フコトヲ申出スノデアリマス、其第三取得者、即チ抵當物ヲ讓リ受ケタ者ガ申出タ値段ヨリモ十分ノ一以上ニ高ク賣レ、バソレデ宜シイノデアリマスガ、十分ノ一ヨリモ高ク賣レナイト云フ時ニハ、十分ノ一ダケノモノヲ吐出ス——ト言ヒマスカ、大體ニ於テ吐出スト云フコトニナルノデアリマス、第三取得者ノ希望ノ値段ニ應ジテ競賣ガ出來ナケレバ危險ガアルト云フ譯デアルカラ、此規定ダケヲ考ヘテ見イ場合ニハ、結局十分ノ一以上ニ高ク保護セラレ、第三取得者ガ相當ノ安イ抵當權ヲ除イテシマフコトガ出來

三 取得者ニ餘リ利益ニナラヌモノデア  
リマスカラ之ヲ除クコトニ致シタノデア  
アリマス

○板谷委員 此箇條ニ關聯ヲ致シテ御  
尋シタイト思フノデアリマス、獨逸ニ  
於ケル抵當證券制度要領ニ依ルト、  
「登記所ハ抵當權ノ登記ヲ爲シタルト  
キハ抵當證券ノ發行ヲ除斥スル特約ナ  
キ限リ證券ヲ發行ス」トアッテ、餘程  
廣イ意味ニ解釋サレテ居ルノデアリマス、然ルニ此法案ハ、抵當證券ノ發行  
ノ特約アルモノニ限ルコトニナッテ居  
ル、一方ハ何等カ發行ヲ除斥スペキ特  
約ノナイ限りハ、抵當權ガ設定サレタ  
ナラバ、必ズ證券ヲ發行スルト云フヨ  
トニナツテ居ルノデアリマスガ、此證券  
ヲ廣ク運用スルト云フ意味カラ行キマ  
スナラバ、獨逸ノ方ノ制度ガ宜イヤウ  
ニ私共ニハ考ヘラレル、特約ナキ限り  
ハ發行ハ出來ナイト云フコトニ、此法  
案ニハナツテ居ルノデアリマスガ、是ハ  
ドウ云フヤウナ不都合ガアツテ、又ドウ  
云フ風ニ考ヘテヤラレタノデアリマス  
カ、御意見ヲ一ツ承リタイ

○長島政府委員 獨逸ノ抵當證券ハ、  
私モ能ク存ジマセヌガ、獨逸ノ抵當證  
券ハ、多ク所有者ニ交付ヲ致スノデア  
リマス、サウ致シマスト云フト、結局抵  
當權設定者ニ交付スルコトニナリマス  
カラ、特約ガ大體要ラナクナル譯デア

リマス、サウ致シマスト云フト、抵當權設定者ガ愈々自分ガ之ヲ運轉サセヨ  
ウト思フ時ニ、自分ガ出シテ、債權者ニ渡スノデアリマスカラ、ソレガ即チ  
一種ノ特約ニナル譯デアリマス、抵當權設定者ノ意思ニ基イテ、抵當證券ハ  
流通致シマスカラ……本邦ニ於テハ抵當證券ト云フモノハ、イキナリ債權者  
當證券ト云フモノハ、イキナリ債權者ニ渡リマスカラ、抵當權設定者ノ意思  
ヲ待タズシテ流通スル譯デアリマス、ソレデアルカラ本邦ニ於テハ特約ヲ必  
要トンタ次第デアリマス

○板谷委員 ドウモ——併シ今私ガ申  
シマスルヤウナ特約ノアル者ニ限ルト  
云フ意味ヨリハ、抵當權ヲ設定シタ場  
合ニ於キマシテハ、廣ク其證券ノ發行  
ガ出來ル方法ヲ講ジテ置イタ方ガ、運用  
用ガ廣クナルヤウニ考ヘルノデアリマ  
ス、又一面ニ於テ、債務者、即チ所有  
者ハ、一定ノ期間ニ異議ノ申立ガ出來  
ルト云フ條件モアルト思ヒマスカラ、  
寧ロ其方が宜イノデハナイカト私ハ考  
ヘテ居リマス、今ノ御説明デハ一寸私  
ハ諒解シ兼ネマス、モウ一遍之ヲ……

○長島政府委員 言葉ガ足リナカッタ  
カモ知レマセヌガ、詰リ獨逸ノハ、私  
ガ假リニ土地ノ所有者ト致シマス、即  
チ私が抵當權設定者デスナ、所有者デ  
スカラ、即チ多クハ債務者デスナ、債  
務者デナクテモ私ガ義務者デアリマ  
スカラ、即チ多クハ債務者デスナ、債  
務者デナクテモ私ガ義務者デアリマ  
ス

ス、義務者ノ人間ニ、獨逸デハ抵當證券ヲ交付スル譯デアリマス、詰リ抵當證券ト云フモノハ、義務者ノ債務ト離シテ存在シ得ルト云フヤウナ觀念ノモノデスカラ、篠原サンノ御質問ニナッタヤウニ、ソレダカラ抵當證券ヲ土地ノ所有者ニ寄越スノデス、其人間ガ抵當證券ヲ流通シヨウト思ヘバ債權者ニ渡シマス、ソレデスカラ特約ハ要ラナイ譯デス、自分ガ流通サセル積リデナケレバ、嫌ナラ持ッテ居レバ宜イノデスカラ、サウナリマセウ、土地ノ所有者、即チ抵當權設定者、多クハ債務者デスガ、其人間ガ抵當證券ヲ流通シヨウト思ヘバ、自分カラ進ンデ出ス、嫌ナラ止セバ宜イ、所ガ本邦デハサウデハナク、債權者ガ登記所ニ申請シテ、債權者ガ抵當證券ヲ貰フノデスカラ、抵當證券ヲ貰テシマヘバ、抵當權設定者ノ意思ニ構ハズニ流通スル、ソレデアルカラ其抵當證券ヲ出ス前ニ、債務者ノ承諾ヲ得テ置カヌト、債務者、若クハ抵當權設定者ノ意思ニ反シテ抵當證券ガ流通スルト云フコトニナル、ソコデ兩者ノ違ヒヲ來シテ來タ譯デアリマス〇大崎委員 只今二十四條ノ御説明デ、抵當權設定ニ對シテ、詰リ證券ヲ發行シタ場合ト、抵當權ダケ登記シタ場合トノ解釋ガ相違シテ居ルト云フヤウナ御説明デアルト思ヒマス、専門家

デアリマスト云フト能ク分リマスケレ  
ドモ、専門家デナイ者ハ、往々斯ウ云フ  
條項ヲ見逃スコトガアル、抵當權設定  
ノ場合ト、又此抵當證券ニナツタ場合  
トニ於テ、他ニモサウ云フヤウナ關係  
ノ法律デ相違ヲ來スヤウナ箇處ガアリ  
マスナラバ、何カ註釋付ノヤウナモノ  
デ承知シタイト云フ希望ガアルノデス  
ガ、當局ノ方ニ於キマシテ、サウ云フ  
簡條ガ若シ他ニモアリマシタナラバ、  
其參考トシテ註釋付ノヤウナモノヲ御  
交付願ヘレバ都合ガ好イノデスガ……  
○長島政府委員 殆ド今申上ゲタ外ニ  
ハアリマセヌガ、只償還請求ヲスル時  
ドモ、ソレハ抵當證券ガ出テ居ル以上、  
ニ、競賣ヲ必ズシナケレバ償還ガ出來  
ナイト云フヤウナコトガアリマスケレ  
シテ、抵當權自身ノ制度ノ違ツタ考ヲ  
現シテ居ルモノハ、此規定ト、ソレカ  
ラ後ニ御話ヲシマス利子ノ支拂ガ滯ル  
ト當然辨濟期ガ來ルト云フ二ツ位ノモ  
ノデアリマス、他ニハアリマセヌ  
○荒川委員長 第二十五條以下ハ證券  
所持人ノ權利ヤ義務ノコトデアリマス  
カラ、二十九條マデヲ一括シテ進行シ  
マス、政府委員ノ説明ヲ求メマス  
○長島政府委員 二十五條ハ一部辨濟  
ノ規定デアリマシテ、元本ヲ一部支拂  
ヒシマタ、或ハ利息ヲ支拂ヒマシタ

ヤウナ場合ニハ、證券ニ其金額ト受取フ  
タ日ヲ書キマシテ、證券ノ所持人ガ記  
名捺印スルコトニナツテ居リマス、利子  
全部、元本ノ全部ヲ辨済致シマシタヤ  
ウナ場合ニハ、證券ハ無論辨済者ニ渡  
ルコトニナルノデアリマス

ソレカラ二十六條デアリマスガ、是  
ハ債務者ガ利息ノ支拂ヲ怠リマシテ、  
アリマス、抵當權ノ效力ハ、丁度二年  
其延滞ガ二年以上ニ達シマスト、元本  
ダケニ及ビマス、利子ノ二年ダケニ及  
ビマスカラ、延滞ガ二年以上ニ及ブト、  
其前ノ分ニ付テ抵當權ヲ實行スルコト  
ガ出來マセヌ、隨ツテ債權者トシテ二年  
延滞シテ、ドウシテモ抵當權ノ實行ヲ  
シナイト利子ガ取レマセヌカラ、茲ニ  
抵當權ヲ實行スル必要ニ到著スルノデ  
アリマス、然ルニ利子ダケニ付テ抵當  
權ヲ實行シマスト、其結果ハ非常ニ  
複雜ニナルノデアリマス、御承知ノ通  
リ抵當權ト云フモノハ、抵當物ガ幾ツ  
モアル場合ハ別トシテ、抵當物ガ一ツ  
デアリマスト、僅カノ金額デモ全部賣  
ルト云フコトニナルノデアリマスカ  
ラ、サウスルト利子ノ二年分ダケ全部  
實行シテ、金ガ剩ルト云フコトニナリ  
マス、其剩タ金ハ、マダ元本ノ辨済期  
ガ來テ居ラスト云フコトデアレバ、仕  
様ガナイカラ供託ヲシテ置カナケレバ

ナラヌ、サウスルト利子ノ關係ヤ、何カデ、非常ニ複雜ナ關係ヲ生ジマスノミナラズ、償還請求トノ關係ニ於テモ甚ダ面倒ナ結果ヲ來シマスカラ、ソコデ延滞二年ニ達シタ時ニ、元本ノ辨濟期ガ來タコトニ致シマシテ、償還請求其他ノコトガ出來ルヤウニ致シタノデアリマス、併ナガラ此場合ニ特約ガアリマシテ、其特約ヲ抵當證券ニ書イテアリマスレバ、ソレハ宜シイノデアリマス、例ヘバ二年分延滞シテモマダ辨濟期ガ來ナイノデアル、或ハ一年デ辨濟期ガ來ルトカ云フヤウナ特約ヲ抵當證券ニ書イテ置キマスレバ、無論ソレニ從ツテ宜シイノデアリマス、ソレカラ後段ノ場合デアリマスガ、定期ニ元本ヲ辨濟すべき場合、例ヘバ年賦償還ガ致シマスヤウナ場合ニ、其年賦償還ガ二年分滞ツタ時モ、ヤハリ全部ノ元本ニ付テ辨濟期ガ來ルヤウニ致シタノデアリマス、是モ利息ノ延滞ノ場合ト同一ノ理由ニ基イタノデアリマス

ソレカラ第二十七條ハ、愈、抵當證券ノ辨濟ノ無イ處分デアリマシテ、抵當證券ノ所持人ハ、辨濟期ガ參リマシテカラ一箇月以内ニ債務者ニ支拂ノ請求ヲスルノデアリマス、サウセネバナラヌ事ニナツテ居リマス、是ハ後ニ申上グマスガ、裏書人ニ對スル償還請求ノ關係ガアリマスカラ、勝手次第ナ時期ニ

所持人ガ辨済ノ要求ヲスル、勝手次第  
ナ時ニ償還ノ請求ヲサレテハ困ルト云  
フ事カラ、此辨済ノ請求ノ時期ニ付テ  
モ制限ヲ置イタ譯デアリマス、而シテ  
此場合ニ若シ支拂ガアリマセヌト、公  
證人又ハ執達吏ニ其旨ノ説明ヲサセル  
コトニナツテ居リマス、是ハ恰モ手形ノ  
拒絶證書ニ似寄タモノデアリマシテ、  
是ガ後ニ申シマス償還請求ノ前提ニナ  
ルノデアリマス

ソレカラ第二十八條ハ支拂ノ要求ノ  
場所ノコトデアリマスガ、抵當證券ニ  
ハ元本ト利息ノ支拂場所ヲ書クコトガ  
出來ルヤウニナツテ居リマス、手形ノ支  
拂場所ト同ジヤウニ、支拂ノ場所ガ書  
ケルヤウニナツテ居ルノデアリマス、一  
一債務者ノ住所ニ行ツテ利子ノ支拂ヲ  
受ケルト云フヤウナコト、或ハ元本ノ  
支拂ヲ受ケルト云フヤウナコトハ、債務  
者ガ遠方ニ居ルトカ、色々ノ事情デ  
困ル事ガアリマスカラ、抵當證券ニ書  
イテアル何處ノ銀行デ拂フコトガ出來  
ルト云フコトニナツテ居リマス、然ラ  
バ、場所ガアレバ無論其支拂ノ場所ヘ  
合ニ、債務者ノ住所ガ分ラヌ時ハ、登  
記簿ニ書イテアル住所デ支拂ヲ求メレ  
バ宜シイ、若シ支拂ガ無ケレバ、其時  
ハ二十七條ニ依ツテ支拂拒絶ノ證明書

ソ書ケバ、ソレデ償還請求ノ請求ハ出來ル、  
ソレガ償還請求ノ前提ニナリ得ルヤウ  
ニ致シタノデアリマス  
ソレカラ第二十九條ハ、二十七條第  
一項ノ、即チ一箇月以内ニ支拂ヲ要求  
致シマシテモ支拂ガアリマセヌ場合  
ニ、抵當證券ノ所持人ガ其五日以内ニ  
支拂ノ要求ヲシテ、支拂ガ無カツタ時  
カラ五日以内ニ裏書人ニ其通知ヲスル  
ト云フコトニナッテ居ルノデアリマス、  
此通知ガアリマシタ場合ニ、裏書人ハ  
抵當證券ト引換ニ支拂ガ出來ルコトニ  
ナッテ居リマス、是ハ前ニ總論的ノ御質  
問ノ際ニモ御話ヲ致シタコトデアリマ  
スガ、抵當物ヲ賣却スル時期ト云フモ  
ノハ、相當考慮ヲ要スルモノデアリマ  
シテ、餘リ急速ニ之ヲ賣ラウト致シマ  
スレバ、安クシカ賣レナイト云フコト  
ニナルノデアリマス、所ガ此三十條ニ  
アリマスヤウニ、償還請求ノ關係カラ  
致シマシテ、辨濟期ヨリ三箇月以内ニ  
之ヲ賣ラネバナラスコトニナッテ居ル  
ノデアリマスガ、其結果若シ抵當物ガ  
餘リ安ク賣レルヤウナコトニナリマス  
ト、裏書人ガ結局非常ニ澤山ナ額ニ付  
テ償還ノ請求ヲ受ケネバナラヌ、抵當  
物ガ安イ結果ハ、辨濟サレナイ金ガ非  
常ニ多クナリマスカラ、裏書人ト云フ  
モノハ非常ニ澤山ノ額ニ付テ償還ヲシ  
ナケレバナラヌヤウニナルノデアリマ

○板谷泰

ス、ソコデ愈、支拂ガ無イ時ハ、抵當證券ノ所持人ノ方カラ裏書人ニ其旨ヲ通知致シマシテ、裏書人ガ今賣ラレチヤ叶ハヌ、非常ニ澤山ノ償還請求ガ來ルト思ヒマスレバ、裏書人ハ自身デ辨済ヲ致シマシテ、サウシテ抵當證券ヲ自分ノ手ニ取ツテ、自分が相當宜シイト思フ時期ニ於テ、其抵當物ヲ處分スルヤウニスル、サウ云フ事ノ出來ル機會ヲ與ヘル爲ニ、二十九條ノ規定ヲ置イタ次第デアリマス

云フ關係ヲ生ズルコトニナルノデアリ

マスカ

○長島政府委員 第一ノ債権者ト云フ

ノハ、所持人デアリマスカ——元ノ債

權者ニ拂ッテ延期ヲシテ貰フト云フノ

デスカ

○板谷委員

私ノ申上グルノハ……モ

ウ一遍御話致シマスガ、例ヘバ茲ニ一

萬圓ノ金ヲ借リテ居ツタ、抵當證券ヲ發

行サレタガ爲ニ、裏書シテ輾轉シテ他

ニソレガ流通サレタ場合ニ於テ、期日

以前ニ當ツテ、債務者ガ延期ヲシテ貰ヒ

タイガ爲ニ元本ノ一部ノ債務ト、利息

ヲ支拂フ場合ニ於キマシテ、抵當證券

ノ所持者ガ分ラス、分ラス場合ニ於テ

ハ、必ず第一ノ抵當權者ニ、ソレヲ裏

書ヲシテ延期ヲ賴ムノガ順序ダト思

フ、其場合支拂ツタ金額ノ責任者ハ——

債務者ノ側カラ言ヘバ正當ニ支拂ツテ

アルカラ、是レ々々拂ッテアルト言フ、

併ナガラ證券ノ所持人ノ手ニハ入ッテ

居ラス、第一ノ抵當權者ニハ其金ガ入

ツテ居ル譯デハアルガ、其關係ガドウナ

ルカ、又其責任ガドウナルカ、此意味

ヲ御尋ネシタイ

○長島政府委員 詰リ抵當證券ノ裏書

ニ依リマシテ、抵當證券ハ所持人ニ移ツ

テ居リマスカラ、其後ニ於テハ一番初

メノ裏書人トハ何モ關係ガナイコトニナツテ居リマス

○板谷委員 關係ハナイガ、金ヲ拂ッタ

場合ニ、債務者ガ正當ニ拂ッタ場合、其

責任ガ第一ノ裏書人ニ行クカドウデス

カ

○長島政府委員 詰リ債権者ハ抵當物

ノ所持人デスカラ、抵當債權ニ付テノ

ナインデアリマス、若シサウ云フ支拂

ヲシタナラバ不當利得トカ何トカ云フ

コトデ返還ノ請求ガ出來マス

○板谷委員 私ハ往々サウ云フ實例ガ

アルト思フ、第一ノ裏書人ニ對シテ一

部ノ辨濟ヲシテ、延期ヲシテ吳レト云

フヤウナコトハ、私ハ往々アルト思フ

ガ、其拂ツタ金ハ、債務者トシテハ正當

ニ支拂ツテ居ルガ、其責任ハ第一ノ裏書

者ガ持ツノデアルカ、斯ウ云フコトヲ

御尋スルノデス

ノ交渉ヲスルト云フコトハアルコト、

存ジマス

○藍川委員 一寸今ノ二十五條ニ付テ

伺ヒマスガ、之ニハ「元本ノ一部又ハ

利息ノ支拂アリタルトキハ證券ニ其金

額及受領ノ年月日ヲ記載シ且之ニ記名

スガ、之ヲシナイ場合ハドウナリマス

カ

○長島政府委員 實際ノ問題ト致シマ

シテハ、第一ノ裏書人ニ談判ヲ致シマ

シテ、君ハ一體誰ニ抵當證券ヲ裏書シ

タノデアルカト言ツテ、順次ニ尋ネテ行

ケバ、分ルコト、思ヒマス、其場合ニ最

後ノ裏書人ニ、君カラ一ツ話ヲシテ延

期ヲスルヤウニシテ吳レナイスカト言ヘ

バ宜シイガ、第一ノ裏書人ニ金ヲ渡ス

コトハアルカモ知レマセヌガ、サウ云

ルノダト云フコトニシテアルカラ、サ

ウ云フコトニナル譯デアリマス、ソレ

デアリマスカラ、其人ハ利息支拂ニ付テ遅滞ノ責

ナツテ居リマス

○板谷委員 關係ハナイガ、金ヲ拂ッタ

持人ニ對シテ然ルベク延期トカ何カノ

交渉ヲスルコトニナルト思ヒマス、併

ナガラ此ヲ法律的ニ申上ゲレバ、第一

デモ債権者デモナインデアリマスカ

ノ裏書人ト云フモノハ抵當證券所有者

ノ所持人デスカラ、抵當債權ニ付テノ

ナインデアリマス、若シサウ云フ支拂

ヲシタナラバ不當利得トカ何トカ云フ

コトデ返還ノ請求ガ出來マス

○板谷委員 私ハ往々サウ云フ實例ガ

アルト思フ、第一ノ裏書人ニ對シテ一

部ノ辨濟ヲシテ、延期ヲシテ吳レト云

フヤウナコトハ、私ハ往々アルト思フ

ガ、其拂ツタ金ハ、債務者トシテハ正當

ニ支拂ツテ居ルガ、其責任ハ第一ノ裏書

者ガ持ツノデアルカ、斯ウ云フコトヲ

御尋スルノデス

ノ交渉ヲスルト云フコトハアルコト、

存ジマス

○藍川委員 一寸今ノ二十五條ニ付テ

伺ヒマスガ、之ニハ「元本ノ一部又ハ

利息ノ支拂アリタルトキハ證券ニ其金

額及受領ノ年月日ヲ記載シ且之ニ記名

スガ、之ヲシナイ場合ハドウナリマス

カ

○藍川委員 融通ノ性質ニ對スル總テ

ノ要件ハ、之ヲ缺ク場合ニ於テ、——何

カ形式上ノ要件ヲ缺ク場合ニ於テハ變

更ヲ要スルト云フコトニナツテ居リマ

ス、元本ノ一部トカ、利息ノ支拂ヲ爲

サヌ時ニ、訴訟ガ出來ルトカ、遲滯ノ

責任ヲ免レルト云フコトハ、是ハ出來

ル譯デアリマスカ、此點如何デアリマ

スカ

○長島政府委員 記名捺印ヲ致シマセ

ヌケレバ、結局要ストアリマスカラ、

参リマシタ時ニハ、利息ノ支拂ヲ爲サ

ナケレバナラヌノデアリマスガ、其場

合ニ於テ利息ノ支拂ヲシタ以上ハ、證

券ニ斯ウ云フヤウナ記載ヲシ、記名捺

持人ニ對シテ然ルベク延期トカ何カノ

ス、其處マデ申上グル必要ガアルカド

ス、其人間ニ金ヲ拂ッテ延期ヲ求メル

コトハ、法律的ニハ出來ナインデアリ

マス、事實問題トシテハ、第一ノ裏書

人ガ自己ノ裏書ヲシタ人ニ對シテ、債

務者ノ爲ニ圖ツテ、サウシテ色々延期等

ノ交渉ヲスルト云フコトニナツテ居リマ

スガ、サウ云フ場合ニハ記名捺印ヲサ

セル、訴訟デモ起シテ捺印ヲサセルヨ

リ仕様ガナイト云フコトニナツテ居リ

マス

○藍川委員 融通ノ性質ニ對スル總テ

ノ要件ハ、之ヲ缺ク場合ニ於テ、——何

カ形式上ノ要件ヲ缺ク場合ニ於テハ變

更ヲ要スルト云フコトニナツテ居リマ

ス、元本ノ一部トカ、利息ノ支拂ヲ爲

サヌ時ニ、訴訟ガ出來ルトカ、遲滯ノ

責任ヲ免レルト云フコトハ、是ハ出來

ル譯デアリマスカ、此點如何デアリマ

スカ

○長島政府委員 詰リ利息ノ辨濟期ガ

シテハアルカト言ツテ、順次ニ尋ネテ行

ケバ、分ルコト、思ヒマス、其場合ニ最

後ノ裏書人ニ、君カラ一ツ話ヲシテ延

期ヲスルヤウニシテ吳レナイスカト言ヘ

バ宜シイガ、第一ノ裏書人ニ金ヲ渡ス

コトハアルカモ知レマセヌガ、サウ云

ルノダト云フコトニシテアルカラ、サ

ウ云フコトニナル譯デアリマス、ソレ

デアリマスカラ、其人ハ利息支拂ニ付テ遅滞ノ責

ナツテ居リマス

ジナイト云フコトニナルノデアリマ

ス、其處マデ申上グル必要ガアルカド

ス

ス

ス

ス

ス

ス

ス

ス

ス

ス

ス

ス

ス

ス

ス

ス

ス

ス

ス

ス

ス

ス

ス

ス

ス

ス

ス

ス

ス

ス

ス

ス

ス

到來ノ結果ハ生ジナイノデアリマス、若シ斯ウ云フコトヲ要件ニシタ場合ニハ、抵當證券ノ所持人ガ居リマセヌ場合ニ於テモ、利息ハ支拂ハナケレバナリマセス、若シ之ヲ支拂ヒマセヌケレバ、二十六條ノ效果等ガ發生スルコトニナルノデアリマス。

○板谷委員 二十七條ニ「元本ノ辨濟期後一月内ニ債務者ニ對シテ支拂ノ請求ヲ爲スコトヲ要ス」トアル、只今ノ御説明ニ依リマスレバ、是ガ償還請求ノ前提ニナルト云フ御話デアリマスガ、不動産ノ抵當證券ノ如キモノハ、其權利ヲ消失スルヤウニ、中々期日ニ拂ハナイト云フコトハ、寧ロ多イト云フ關係ニ考ヘテ居ルクデアリマスガ、期日マデ待ツテ吳レト云フノデ、段々時日ガ経テ、サウシテ一箇月ヲ經過スル、經過スレバ從ツテ償還請求ノ權利ニ付テハ、思ヒマス。

○勝田委員 二十五條ニ付テ伺ヒマス、先程藍川君ノ質問ニ關聯致シマスガ、此場合ニ、若シ元本ノ一部トシテ利息ヲ支拂ヒマシシテ、抵當權ノ持有人ガソレヲ受取り、抵當權ヲ融通シタ場合ニハ、元本ナリ利息ヲ支拂ヒマシルコトハ、本當ニ抵當權ヲ執行スルノハ三箇月以内デ宜イノデアリマシテ、一箇月内ハ執達吏、公證人ヲ連レテ行フテ支拂ハナカツタト云フ説明ダケヲ取

レバ宜イノデアリマス、併シソレハ慘書人ニ對抗ハ出來ナイノデアリマス酷デアッテ、ヤレナイコトガアルト云フ。○勝田委員 債務者ハ二重拂ヲシナケタルモノト看做ス、斯ウ云フコトニナルノデアリマスガ、併ナガラ裏書ヲ受ケマシタナラバ、裏書人ノ地位モ考ヘナレバナラス、斯ウ云フコトニナルノデアリマスカ。

○長島政府委員 其通リデアリマス書人ガ困ルノデアリマス、裏書人ガ自己ノ償還ヲ受ケレバ、最終ノ債務者ニ請求ヲシテ行クコトガ出來ルノデアリマスカラ、裏書人ハ債務者デアルト共ニ債權者デアリマスカラ、其所持人ダケテ勝手ニ延バサレラハ困ル譯ナシデト思ヒマス。

○長島政府委員 ソレハ證券ノ被裏書利ガ安全ニナツテ居ルコトノ反対ニ、又所持人ニ不使ダト云フコトモ言ヒ得ルト思ヒマス、要スルニ證券ノ融通性ヲ認ムル以上ハ、已ムヲ得ナイ結果ト責ニ任ジナイ。

○勝田委員 サウスルト茲ニ記名捺印ス、先程藍川君ノ質問ニ關聯致シマスガ、此場合ニ、若シ元本ノ一部トシテ利息ヲ支拂ヒマシシテ、抵當權ノ持有人ガソレヲ受取り、抵當權ヲ融通シタ場合ニハ、元本ナリ利息ヲ支拂ヒマシルコトハ、本當ニ抵當權ヲ執行スルノハ三箇月以内デ宜イノデアリマシテ、一箇月内ハ執達吏、公證人ヲ連レテ行フテ支拂ハナカツタト云フ説明ダケヲ取

ス、ソコデ仕方ガナイ、嫌ヤダカラト思ヒマス、要スルニ證券ノ融通性ヲ認ムル以上ハ、已ムヲ得ナイ結果ト責ニ任ジナイ。

○長島政府委員 實ハ其點ハ今一寸其解釋ヲ何方ニシテ宜イカ非常ニドウモ迷ツテ居ルノデアリマス、證券發行前ノ延滞利子ニ付テ、證券ノ效力ガ及ブトシマスト、極端ナ場合ヲ考ヘマスレバ、殆ド二年延滞シテ居ルモノデスト、證券發行ノ瞬間ニ於テ辨濟期ガ來ルト云フヤウナコトガ起リ得ル、サウ云フコトニナリマス、證券面ノ取引ト云フコトカラ考ヘマスト、證券ノ效力ト云フモノハ、其證券が發行サレタ時カラ延滞利息ニ付テ及ブト云フノガ宜イヤウニ私ハ考ヘマシテ前ニ御答致シタノデアリマス、併ナガラ理窟ヲ考ヘレバ、證券が發行サレタガ故ニ抵當債權者ノ權利ガ宣クナルト云フ理窟モアリマセスカラ、其方カラ申スト云フト、發行六條ノ規定ニ依リマスト「遲滯ガ二年

ニ達シタルトキハ元本ノ辨濟期到來シテ居リマスガ、是ハ債權ニ對シ、例ヘバ一年間ノ延滞利息ガ既ニ發生シテ居ル場合ニ、後デ幾年カ經チマスレバ、

テ居リマスガ、是ハ債權ニ對シ、例ヘバ一年間ノ延滞利息ガ既ニ發生シテ居ル場合ニ、後デ幾年カ經チマスレバ、

○勝田委員 サウ云フコトニナリマスト、先程御答辯ニナリマシタ、記入セ	ト、ナイ證券發行前ノ延滞利息ハ、是ハ當事者間ダケデ解決スベキモノダトスウ云フ御答辯デアッタカラ聽クノデアリマスガ、ヤハリ書イタ方ガ宜イデハナ	イカト思ヒマス	ト云云フコトニ言テ宜イヤウニ思フノデアリマス、其點ハ「寸今私ハ迷ツテ居ル譯デアリマス
○長島政府委員 其通リデアリマス	○勝田委員 二十六條ノ延滞ガ二年ト云フノハ、二箇年分ト云フ意味デスカ、是ハ永小作權ノ問題デ二箇年分ト云フコトニ解釋サレテ居リマスガ、ア、云フ意味デスカ	シ抵當證券ニ特約ノ記載アルトキハ其定ニ從フ」ト云フノヲ受ケルノデアリマスカ	シ抵當證券ニ特約ノ記載アルトキハ其定ニ從フ」ト云フノヲ受ケルノデアリマスカ
○中田委員 ソレカラ只今ノ債權者ガ	○勝田委員 二年分ト云フ積リデスカ	抵當證券ニ、一部辨濟ノ記入ヲシナイ云フモ二年、テスカ、是ハ記入シナケレバ支拂ハザルコトガ	抵當證券ニ、一部辨濟ノ記入ヲシナイ云フモ二年、テスカ、是ハ記入シナケレバ支拂ハザルコトガ
テ居リマス	○長島政府委員 ツマリ延滞ハ一年分	テ居リマスガ、ア、云フ意味デスカ	テ居リマスガ、ア、云フ意味デスカ
○長島政府委員 其書ク問題ハ別ダト	○勝田委員 二年分ト云フ積リデスカ	デモ二年ニナレバ二年延滞ト云フコトニナル積リデアリマス	デモ二年ニナレバ二年延滞ト云フコトニナル積リデアリマス
思ヒマス、何方ニシテモ證券ニ延滞利	○長島政府委員 一年ノヤツガ二年續	○長島政府委員 二年分ト云フ積リデスカ	○長島政府委員 二年分ト云フ積リデスカ
息ノコトハ書カヌ積リデアリマス、ソ	イテ怠レバト云フコトニナリマス、併	○勝田委員 二年分ト云フ積リデスカ	○勝田委員 二年分ト云フ積リデスカ
レハ證券發行後ニ於キマシテモ同様デ	ナガラサウナレバ恐フク債務者ノ不利	○長島政府委員 一年ノヤツガ二年續	○長島政府委員 一年ノヤツガ二年續
アリマシテ、利子ガ何年分積ツテ居ルト	益デスカラ、當然先キニ辨濟期限ノ來	イテ怠レバト云フコトニナリマス、併	イテ怠レバト云フコトニナリマス、併
云フコトハ、證券デハ分ラヌノデアリ	テ居ルモノニドン／＼充當シテ參リマ	ナガラサウナレバ恐フク債務者ノ不利	ナガラサウナレバ恐フク債務者ノ不利
マシテ、ソレハ利子ノ記入ガアリマシ	スカラ、結局ハ一番終ヒノ分ガ辨濟サ	益デスカラ、當然先キニ辨濟期限ノ來	益デスカラ、當然先キニ辨濟期限ノ來
テ初テ分ルノデアリマス、證券ノ表ノ	レナイデ二年續イタコトニナルト思ヒ	テ居ルモノニドン／＼充當シテ參リマ	テ居ルモノニドン／＼充當シテ參リマ
方自體ニハ利息ノ額ヲ書クダケデアリ	コトハ書カヌ積リデアリマス、支拂ノ	スカラ、結局ハ一番終ヒノ分ガ辨濟サ	スカラ、結局ハ一番終ヒノ分ガ辨濟サ
マシテ、ドレダケノ額ニ達シタト云フ	記載ニ依ツテ自ラ何時マデノ利息ガ延	レナイデ二年續イタコトニナルト思ヒ	レナイデ二年續イタコトニナルト思ヒ
云フコトハ、證券デハ分ラヌノデアリ	滯シテ居ルカト云フコトガ分ルト云フ	コトハ書カヌ積リデアリマス、支拂ノ	コトハ書カヌ積リデアリマス、支拂ノ
マシテ、ソレハ利子ノ記入ガアリマシ	趣旨ガ出來テ居リマス	記載ニ依ツテ自ラ何時マデノ利息ガ延	記載ニ依ツテ自ラ何時マデノ利息ガ延
テ初テ分ルノデアリマス、證券ノ表ノ	○荒川委員長 一寸速記ヲ止メテ……	滯シテ居ルカト云フコトガ分ルト云フ	滯シテ居ルカト云フコトガ分ルト云フ
方自體ニハ利息ノ額ヲ書クダケデアリ	〔速記中止〕	趣旨ガ出來テ居リマス	趣旨ガ出來テ居リマス
マシテ、ドレダケノ額ニ達シタト云フ	○荒川委員長 速記ヲ始マス	○荒川委員長 一寸速記ヲ止メテ……	○荒川委員長 一寸速記ヲ止メテ……
云フコトハ、證券デハ分ラヌノデアリ	〔速記中止〕	○荒川委員長 速記ヲ始マス	〔速記中止〕
マシテ、ソレハ利子ノ記入ガアリマシ	○藍川委員 一寸今ノ二十六條ニ付テ	○藍川委員 一寸今ノ二十六條ニ付テ	○藍川委員 一寸今ノ二十六條ニ付テ
テ初テ分ルノデアリマス、證券ノ表ノ	示ハ要ラナイノデスカ	示ハ要ラナイノデスカ	示ハ要ラナイノデスカ
方自體ニハ利息ノ額ヲ書クダケデアリ	○中田委員 此請求ニ付テハ證券ノ提	○中田委員 此請求ニ付テハ證券ノ提	○中田委員 此請求ニ付テハ證券ノ提
マシテ、ドレダケノ額ニ達シタト云フ	示ハ要ラナイノデスカ	示ハ要ラナイノデスカ	示ハ要ラナイノデスカ
云フコトハ、證券デハ分ラヌノデアリ	○長島政府委員 第三十條ハ、抵當證	○長島政府委員 第三十條ハ、抵當證	○長島政府委員 第三十條ハ、抵當證
マシテ、ソレハ利子ノ記入ガアリマシ	券ノ所持人ガ、若シ其債務者カラ支拂	券ノ所持人ガ、若シ其債務者カラ支拂	券ノ所持人ガ、若シ其債務者カラ支拂
テ初テ分ルノデアリマス、證券ノ表ノ	ヲ受ケナカッタ場合、即チ前ニ二十七條	ヲ受ケナカッタ場合、即チ前ニ二十七條	ヲ受ケナカッタ場合、即チ前ニ二十七條
方自體ニハ利息ノ額ヲ書クダケデアリ	デ申シマシタヤウニ一箇月内ニ支拂ヲ	デ申シマシタヤウニ一箇月内ニ支拂ヲ	デ申シマシタヤウニ一箇月内ニ支拂ヲ
マシテ、ドレダケノ額ニ達シタト云フ	自己ノ裏書人ニ對シテ償還ノ請求ガ出	自己ノ裏書人ニ對シテ償還ノ請求ガ出	自己ノ裏書人ニ對シテ償還ノ請求ガ出

來ルノデアリマス、其償還ノ請求ニハ二十條卽チ一箇月以内ニ支拂ノ要求ヲスル、之ハ拒絶證書ヲ作ルト云フコト竝ニ三箇月以内ニ競賣ノ申立ヲスルリマス。

次ニ三十二條ヘ入リマスガ、三箇月以内ニ競賣ノ申立ヲナスコトニナッテ居リマスガ、場合ニ依リマスト、競賣ノ申立ヲナスコトガ出來ナイカ、若クハナシテモ、殆ド無益ナ場合ガアルノデアリマス、抵當權ガ存立シテ居ラヌ、例ヘバ無能力者デアリマシテ、異議申立ノ催告ヲ受ケタ時ニモ、其抵當權ハ後デ取消サレルコトニナルカラ存在シテ居ラヌ、是ハ非常ニ稀ナ場合デ、若シアルトスレバ、サウ云フ場合モ起リ得ルノデアリマス、ソレカラ抵當權ノ目的物ガ全部滅失シテ了ッタ場合、例ヘバ家屋ガ抵當ニ入ッテ居ル場合ニ、火災デ焼ケテシマッタ云フ場合ニハ、競賣ノ申立ヲスルコトモ出來マセヌ、又其競賣ノ目的物ガ非常ニ損壞致シマシテ、殆ド競賣ヲシテ見タ所デ、競賣費用モ償フコトガ出來ナイ、斯ウ云フ場合モ亦競賣ヲナシテモ無益デアリマスカラ、斯ウ云フ時ニハ、裁判所ノ許可ヲ得テ、競賣ヲシナイデモ宜イト云

ト云フコトノ前提ニナッテ居ルノデアリマス。次ニ三箇月以内ニヤラナケレバナラスト云フコトヲ規定致シタノデアリマス、トニナッテ居リマスガ、此抵當權ニ對シテ、競賣ヲヤラヌデモ宜シト云フコトヲ許可ノ申請モ、ハヤリ三箇月以内ニシナケレバナラスト云フコトニ致シテ、支拂期限ノ前ト後ニ依ツテ、全然權ムコトヲ得ザル事由ガアリマスレバ延バスコトガ出來ルノデアリマス、即第三十條ノ第二項ノ規定ヲ準用致シマシテ、或ハ裁判所ノ許可ヲ得、若クハ裏書人ノ全員ノ同意ヲ得テ其許可ノ申請期日ヲ延バスコトガ出來ルコトニナ

テ居リマス。

第三十三條ハ、今申シマシタ許可ノ裁判ノ仕方ニ付テノ問題デアリマス、即チ競賣ノ期間ノ伸長若クバ競賣ヲナシテモ宜シトイト云フヤウナ許可ノ裁判、サウ云フ事ニ付キマシテハ、其抵當權ノ目的物ノアリマス場所ヲ管轄シテ居ル區裁判所ガ、非訟事件デ極ク簡單ナ方法デヤルト云フコトニナッテ居リマス。

ソレカラ第三十四條ハ、極ク細カイ規定デアリマシテ、今申シタヤウナ非訟事件デ裁判ヲ致シマス場合ニ、其費用ノ事ハ民事訴訟費用法ノ第十六條ニ依リマスシ、ソレカラソレニ貼リマス付テノ御考ハドウデゴザイマセウカ

トニナッテ居リマスガ、此抵當權ニ對シテ、色々ト不便ガ出來テ來ルモノガ多々アルヤウニ思ヒマスガ、其點ニヨリト云フコトニナリマシテ、結果ノ所デモ申上ゲマシタガ、元本ノ一條ノ所デモ申上ゲマシタガ、是ハ前ノ二十五年、期間後デモ、ヤハリ、期間前ト同日、期間後デモ、ヤハリ急イデ抵當權ノ執務部又ハ利息ノ支拂ヲシテモ、債權者ガ性質ノ惡イ者デ抵當證券ニ記入致シマヌト云フヤウナ、隨分裏書人ガ重大ナ責任ヲ負フテ居ル抵當證券法デアリマスカラシテ、大抵免責文句ヲ書クコトニナルト思フノデアリマスガ、サウナルト云フト、ヤハリ急イデ抵當權ノ執行ヲシナクテモ差支ナイト云フヤウナ所カラシテ、或ハ又ソレヲ、他ニ輾轉スル、サウシテ一部分拂へ、延バシテ延バシテヤルト云フヤウナコトヲ云ッテ延

ト云フコトヲシナケレバナラスト云フヤウナ非常ナ不利益ヲ受クルヤウナコトニモナリマスシ、其他此以下ノ條文ニ對シテ、色々ト不便ガ出來テ來ルモノガ多々アルヤウニ思ヒマスガ、其點ニヨリト云フコトニナリマシテ、延金ヲ取レバ、其事ヲ期ヲ承諾シテ、延金ヲ取レバ、其事ヲ證券ニ記入シナイト云フヤウナ、非常ナ不便ガ實際ニ於テ起ツテ來ハセヌカ、二割拂ヘバ延バシテヤル、三割拂ヘバ延バシテヤルト云フヤウナコトヲ言ツテ、ソレデソレヲ證券ニ記入セズシテ、

月以内ニヤラナケレバナラスト云フコトニナッテ居リマス、是ハ前條ニ於テ競

トニナッテ居リマスガ、此裏書人ガ償還義務ヲ負フマシタ、併シ此三箇月ノ期間モ、亦已ムコトヲ得ザル事由ガアリマスレバ延バスコトヲ行ツテモ、裏書人ハ大抵裏書人ノ責任ヲ負ハヌコトニナッテ、大抵裏書人ノ責任ヲ負擔セズト云フ所ノ免責文句ヲ記載シテ讓渡スルコトニナルダラ

此方法ヲ行ツテモ、裏書人ハ實際ニ於テレマスガ、此裏書人ガ償還義務ヲ負フ場合ニハ、競賣ノ申立ト仰セラルカモ知レマセスガ、私ハ實際ニ於テコトニナルノデアリマス。

○名川委員 是ハ競賣ノ申立ト仰セラルカモ知レマセスガ、私ハ實際ニ於テコトニナルノデアリマス。

○名川委員 是ハ競賣ノ申立ト仰セラルカモ知レマセスガ、私ハ實際ニ於テコトニナルノデアリマス。

○長島政府委員 是ハ手形ノ期間、裏

○長島政府委員 ソレハ



フコトガ必要デアルト云フコトガ一ツ  
デアリマスノト、ソレカラ抵當物ガ無  
クナッテモ、債權ハ殘ツテ居ルト云フ觀  
念カラ致シマシテ、ヤハリ償還請求モ  
出来ル、償還請求ノ終局ハ、ヤハリ債  
務者ニ參ルノデアリマスカラ、債務者  
ガ債務ヲ負ツテ居ル以上ハ、償還請求モ  
其全額ニ付イテ行クト云フノガ順當デ  
ハナイカト思フノデアリマス、成程手  
形トハ多少違フ所ハアリマスケレド  
モ、サウ云フ法理ニ付テハ、抵當證券  
ハヤハリ同ジモノデアル、成程既存ノ  
権利ガアルト云フコトハ違ヒマスケレ  
ドモ、ソレガ有價證券化セラレタ後ニ  
於テハ、モウ殆ド手形ト違フ所ハナイ  
ト思フノデアリマス、勿論細カイ學術  
上ノ理論ヲ申上グレバ、ソレハ多少違  
フコトモアルカモ存ジマセヌケレド  
モ、實質カラ言ヘバ殆ド手形ト同ジデ  
アルト申シテ宜シイノデアリマスカラ  
ラ、其趣旨ニ於テ此規定ガ出來テ居ル  
ノデアリマス

○名川委員 餘リ議論ニナリマスカラ  
多クハ論ジマセヌガ、斯ウ云フ規定ハ、  
流通ヲ容易ニスル爲ニ作ッタト云フ御  
説明デアリマスガ、是ハ私ハ議論ニナ  
ルト云ヒマスカ、ソレダケノ又證券ノ  
所有者ニ於テハ責任ガアル、即チ自分  
ガ抵當權ヲ實行セズニ、他ニ讓渡スル  
時ニハ、ソレダケノ重大ナ責任ヲ負ハ  
ナケレバナラスコトニナルノデアリマ  
スカラ、サウ云フ重大ナ責任ヲ負フベ  
キ證券ヲ、自分ガ讓受ケテ、又他ニ讓  
渡スレバ、其責任ヲ負ハナケレバナラ  
ス、尚ホ建物ガ燒失シタヤウナ場合ニ  
ハシナイカ、即チ自分ガ裏書スレバ責  
任ガアルノデアリマスカラ、結果ハ裏書人  
得スルコトヲ喜バヌヤウニナッテ來  
ハシナイカト思フノデアリマスカラ、結果ハ裏書人  
ハセヌカト思フノデアリマス、是ハド  
ケレバ宜イト云フヤウナコトニナッテ  
ウデスカ

○長島政府委員 其處ハマア程度デア  
リマシテ、程度ト謂ヒマスカ、何方ニ  
ナルカ存ジマセヌガ、併シ又滅失スレ  
バ、マルデ取レナイト云フコトニナレ  
バ、讓受ケル人間ガナイト云フコトニ  
ナリマス、ソレデ結局讓受ケル人ニ利  
益ガアルヤウニシテ置ケバ、讓受ケル  
人ガアルガ、讓受ケル方ニ不利益ニ出  
來テ居レバ、讓受ケル者ガナイト云フ  
コトニナッテ、是ハアナタト私ノ意見ノ  
問題ニナリマスガ、大體此法ハ手形法  
ト同ジャウニ裏書デ流通ヲ補フヤウニ  
ナッテ居ル、御承知ノ通り、抵當物ハ實  
有者、即チ借地人ガ地代ヲ拂ハズシテ  
ニ付テ、借地ノ上ニ建ツテ居ル家ヲ除

ス、又抵當物ハ、實際ノ占有ハ債務者  
ニアルノデアリマスカラ、債務者ノ利  
用方法如何ニ依ツテハ、隨分抵當物ヲ破  
壊スルデアリマセウシ、色々ナ危險モ  
物ガ執達吏ニ依ツテ打毀サレルヤウナ  
場合ガ多イノデアリマスガ、サウ云フ  
ス、即チ抵當權者ハ知ラヌ問ニ、其建  
物ガ執達吏ニ依ツテ打毀サレルヤウナ  
コトニ付テハ、何カ確實性アル抵當證  
券ヲ拵ヘルト云フコトニ付テ御考ガア  
ス、尙ホ建物ガ燒失シタヤウナ場合ニ  
ハシナイカト思フノデアリマスカラ、結果ハ裏書人  
ハセヌカト思フノデアリマセウカ、並ニサウ云フ場  
合ニタノデアリマセウカ、合デモ、ヤハリ此裏書人ガソレニ依ツテ  
其方デモ解決ガ出來ルノデハシナイカト  
存ジテ居リマス

○長島政府委員 保険ト云フ御話ガゴザイ  
○名川委員 保険ト云フ御話ガゴザイ  
○長島政府委員 元來此案ヲ立案致シ  
○長島政府委員 其點ハ、結局保険ハ  
保険證券デ、御承知ノ如ク保険會社ト  
保険證券デ、御承知ノ如ク保険會社ト  
云フコトヲシテ居ルト、結局立退ヤ、  
云フコトヲシテ居ルト、結局立退ヤ、  
何カノ請求ヲ地主カラ受ケテ、建物ガ  
マルデ無クナルト云フヨトガ起ル、サ  
ウ云フモノニ抵當證券ヲ出スノハドウ  
カト云フ問題ガアリマシタノデスガ、  
市内ニハ大キナ「ビルディング」ナドモア  
リマシテ、ソレ等ハ地上權デハナシニ  
貨借權デヤツテ居ルモノガ隨分アリマ  
ス、而シテ貨借權ハ、現在ニ於テハ法律  
上或ハ經濟上ノ力ニ依ツテ隨分強ク保  
護サレテ居リマスカラ、ヤハリ之ヲ除  
外スル譯ニハ行クマイ、又土地ノ金融

コトハ重大ナル問題デアルカラ、ドウシテモ之ヲ入レナケレバナラヌ、實際ノ運用ニ付テハ、是ハ名川委員ナドモ御承知ノ通り、抵當權者ガ地主ニ交渉シテ、地代ノ滯リナドガアッタナラバ知ラシテ貰フト云フヤウナコトデ、隨分注意シテ居ルヤウデアリマス、事實非常ニ不便ニハ相違アリマセヌガ、之ガ爲ニ抵當證券ノ發行ヲ廢メル譯ニハ行カナイノデアリマス、實際ハ現在デモ抵當權者ガ之ヲ取ツテ、何トカナッテ居ルノデアルカラ發行シヨウト云フコトデ、抵當證券ノ發行ヲ可能ナラシメタルカト云フコトニナルト、是ハ出來ナクカト云フコトニシタノデアリ、抵當權金融ノ便利ノ爲ニ、借地權ノ規定マデ改正スルコトハ出來ナイカラ、ソレハシナイコトニシタノデアリマス、而シテサウ云フ場合ニ、若シ家屋ノ取毀命令ナドテ取毀サレタ場合ニハドウナルカト云フ點ニナリマスト、是ハ恐ラク稀ナ場合ト存ジマスノデ、愈、其場合ニナレバ、地代ヲ誰カド拂フコトニナッテ話ガ付クト思ヒマス、併シ事實取毀サレルコトニナレバ、結局内部關係ニ於テ、所謂損害賠償トカ、不當利得ト云フヤウナ關係ガ起ルト思ヒマス、即チ償還ノ問題ハ起ルコトニナルノデアリマスガ、結局第一ニ裏書人

テ債務者ヲ相當ニ調ベル、家屋ノ關係シテモ之ヲ有タナケレバナラヌ、實際ノ實行ヲ敏滑ナラシムル必要ガアルト思ヒマス、此問題ハ屢々繰返サレタ問題デアリマスガ、尙ホ政府ノ意見ヲ確シムルコトニ付テハ、何ト言ツテモ抵當權ノ實行ヲ敏滑ナラシムル必要ガアルト思ヒマス、是ハヤハリ普通ノカナイノデアリマス、實際ハ現在デモ抵當權實行ト同様ナル競賣ヲ應用ナサル考デアルカ、或ハ特ニ抵當證券ノ發行サレタ競賣ニ向ツテハ、特殊ノ取扱ヲスル考デアルカ、或ハ抵當權ノ實行ニ付テハ、從來ノヤウナ非常ナル滯滞ヲシナイヤウニスルニ付テノ何カノ考ヲ持ツテ居ラレルカ、此點ヲ伺ヒタイ

○長島政府委員 前ニモ申上グタヤウニ、競賣ノ進行ガ實際餘リ圓滑ニ行ツテ居ラスノハ、私共非常ニ遺憾ニ思ツテ居ル次第アリマス

○勝田委員 二十九條ノ第二項ニ於テ「前項ノ場合ニ於テハ、各裏書人ハ抵當證券ト引換ニ其支拂ヲ爲スコトヲ得」トアリマス、何時引換ヲ請求シテモ宜イノデアリマスカ

○長島政府委員 早ク致シマセメト、事實競賣ノ申立ヤ何カニナルト存ジマス、而シテサウ云フ事務ノ割合ニ人間ガ足リナイマスガ、此「已ムコトヲ得ザル事由ニ因リ」ト云フ文字ヲ御出シニナッタ趣旨ハ、相

スルマデハ構ハナイ、競賣終了以前ニ終了シテ居リマスノデ、其事實ハ此ケベ宜シイノデアリマスカ

○長島政府委員 競賣ガ一旦申立テラ

スル事由ニ因ルカドウカト云フコト

ザル事由ニ因ルカドウカト云フコト

ハ、其高ク賣レナイト云フノモ、事情如何ニ依ルコト、思ヒマス、例ヘバ現

立ハ、競賣手續ノ各段階ニ於テ出來ルナッテ居ルノデアリマス、之ニ付テ、目下司法省ニ於テ改正スルコトニナリ、委員會ヲ設ケテ折角調査中デアリマシテ、各種延滞ノ事由ヲ調査シテ居リマスカラ、之ガ改正ノ曉ニハ相當ノ效果ヲ舉ゲ得ラレルコト、思ヒマス、尙ホメタイト思ヒマス、是ハヤハリ普通ノ抵當權實行ト同様ナル競賣ヲ應用ナサル考デアルカ、或ハ抵當權ノ實行ニ付テハ、從來ノヤウナ非常ナル滯滞ヲシナイヤウニスルニ付テノ何カノ考ヲ持ツテ居ラレルカ、此點ヲ伺ヒタイ

○長島政府委員 前ニモ申上グタヤウニ、競賣ノ進行ガ實際餘リ圓滑ニ行ツテ居ラスノハ、私共非常ニ遺憾ニ思ツテ居ル次第アリマス

○勝田委員 二十九條ノ第二項ニ於テ「前項ノ場合ニ於テハ、各裏書人ハ抵當證券ト引換ニ其支拂ヲ爲スコトヲ得」トアリマス、何時引換ヲ請求シテモ宜イノデアリマスカ

○長島政府委員 早ク致シマセメト、事實競賣ノ申立ヤ何カニナルト存ジマス、而シテサウ云フ事務ノ割合ニ人間ガ足リナイマスガ、此「已ムコトヲ得ザル事由ニ因リ」ト云フ文字ヲ御出シニナッタ趣旨ハ、相

スルマデハ構ハナイ、競賣終了以前ニ終了シテ居リマスノデ、其事實ハ此ケベ宜シイノデアリマスカ

○長島政府委員 競賣ガ一旦申立テラ

スル事由ニ因ルカドウカト云フコト

ザル事由ニ因ルカドウカト云フコト

ハ、其高ク賣レナイト云フノモ、事情如何ニ依ルコト、思ヒマス、例ヘバ現

在ノヤウニ非常ニ物價ノ暴落シテ居ル ヤウナ場合デアレバ、多少延スト云フ 事由ニ入ルト思ヒマス、併ナガラ又讒 テ考ヘマスト、現在ノヤウナ事情デア リマスト、延スト云フコトハ何年延シ テ宜イノカ分ラヌノデアリマスカラ、 サウ云フコトカラ言フト、是ガ已ムコ トヲ得ザル事由ニ入ルカドウカト云フ コトニ付キマシテ、答辯ニ苦ムノデア リマスガ、併ナガラドウシテモ安イ値 デシカ賣レナイ、少クトモ其土地特殊 ノ事由デ、モウ少シ待テバ必ズ上ルト 云フヤウナ場合ニハ、恐ラクハ之ニ入 ルノデハナイカト思フノデアリマス、 而シテ此「期間ノ伸長」ト云フモノハ、 裏書ハ全員ノ利益ヲ害シナイト云フ場 合ニハ之ヲ許シテ宜イ譯デアリマシ テ、裏書人全員ノ同意ガアレバ、常ニ 已ムコトヲ得ザル事由ガナクテモ許ス ノデアリマスカラ、裏書人全員ガ同意 シテ居ルノニ所持人ガ同意シナイト云 フヤウナ場合デアレバ裁判所ハ恐ラク ハ許スコト、存ジマス	カ云フ風ニ、裁判所ハ自由ノ裁量ニ依 リマスカラ、其點ハ手形ノヤウニ規 スノデアルカ、又ハ如何様ニ長ク裁判 所ニ於テシテモ宜イノデアルカ、其邊 ニ對スル御意見ヲ伺ヒマス
○勝田委員 期間ノ伸長ノ規定ニ對ス ル伸長ノ限度ニ付テハ、先程局長ガ仰 セニナッタ譯デアリマスガ、是ハ相當長 クナッテモ宜イノデス、例ヘバ一年間ノ 伸長ノ申請ヲ致シマシタ場合ニ、ソレ ヲ三箇月デアルトカ、六箇月デアルト	○長島政府委員 大體ハ前ニ申シマシ タ通リニ裏書人並ニ債務者又ハ債權者 ノ利益ニ害ガナケレバ、是ハ公益問題 デハアリマセヌカラ、幾ラ延シテモ宜 イカト思ヒマス、ソレカラ非訟事件デ アリマスカラ、申立ヲ認容スルカ拒絶 スルカト云フコトデナシニ、一年ト言 ツテモ、六箇月ナリ四箇月ト云フ風ニ中 間ヲ取ツテヤルコトモ出來ル譯デアリ マス
○中田委員 執達吏若クハ公證人カラ 支拂拒絶ノ證明ガアリマシテカラ後 ニ、裏書ヲスルコトガアリ得ルト思ヒ マス、サウ云フ風ニ手形ノヤウニ前者 ノ有シタ權利ノミヲ繼承スルト云ッタ ヤウナ規定ヲ必要トシナイデアリマセ ウカ、ソレヲ除外サレタ理由ガアリマ スルナラバ承リタイ	○中田委員 執達吏若クハ公證人カラ ドモ、形式的ニ裏書讓渡ヲシテ、サウ シテ自分ノ名前デ競賣ニ付スルコトヲ 避ケルト云フコトガ普通デアリマス、 サウ云フヤウナコトガ澤山起ルモノト 思ヒマス、此證券法ガ施行サレ、パ ーソレデスカラ相當其點ヲ考慮シテ、 拒絶證明ガアツタノハ、支拂拒絶證明ガ アツタ後讓渡シタモノニ對スル權利移
○長島政府委員 特ニ除外シタト云フ 理由モアリマセヌガ、三箇月ト云フヤ ウナ相當長イ期間デアリマシテ、其後 ニナルト一箇月カ二箇月デ直グ競賣ヲ タ	○長島政府委員 今ノヤウナ御話デア リマスレバ、實際ハ償還請求ヲシナイ 譯デスナ、此規定ガアツテ償還請求ガ出 來ルヤウニ致シマシテモ、事實償還請 求ヲシナイカラ、ソレガ多數アル例ノ 中ニハ入レナイデモ宜イカト思ヒマ スガ、別段私ハ例ノ上ニ於テ争フト云 フ積リハアリマセヌケレドモ…
○長島政府委員 其點ハ、手形ノヤウ スカラ、實際ニハ餘リ輾轉ハシナイダ ラウト思ヒマス	○中田委員 要スルニ裏書人ノ償還義 務者ノ利害關係ニナツテ來ル問題デア リマス、其意味デ申上げタノデアリマ スガ、ソレダケ承ッテ置ケバ後ハ意見デ アリマスカラ…
○荒川委員長 ソレデハ午前ハ此程度 ニ規定致シマシテモ、ヤハリ裏書讓渡 ニ置キマシテ、午後續行致シタトイ思 ヒマス、但シ本日ノ本會議ニ無盡業法	○荒川委員長 ソレデハ午前ハ此程度 ニ置キマシテ、午後續行致シタトイ思 ヒマス、但シ本日ノ本會議ニ無盡業法

ノ改正案ガ日程ノ第一ニ上ツテ居リマス、是ハ當委員會ニ關係モアリマスシ、多分此委員會ニ併託セラレルコト、田ヒマスカラ、其本會議ガ濟ミマスト、此委員會ヲ開クコトニ御承知ヲ願ヒマス、此方ニ御參集ヲ願ヒマス、ソレデハ是デ午前ハ休憩シマス

知ハ證券ニ記載シテアル住所へ宛テ、  
出セバ宜シイ、裏書人ガ假令其後移轉  
ヲシテ居リマシテモ、其證券記載ノ住  
所ニ宛テレバ宜シイコトニ致シタノデ  
アリマス、ソレハ前ニモ御話ヲ致シマ  
シタヤウニ、十五條ノ所デ裏書ニハ裏  
書人ノ住所ヲ記載シナケレバナラヌト  
云フコト、相照應致シテ居リマス、三  
一七条、トヨノマツワト直田ヲ出シマ

務者ガ遅延ノ責ニ任ズルノデアリマスカラ、其日カラ後ハ法定利率ニ依ル利率ヲ拂ヒマス、併ナガラ約定利率ノ古ガ法定利率ヨリモ高ケレバ、無論約定利率ニ依リマスノデ、是ハ民法ノ遲延利息ノ規定ト振合ヲ同一ニ致シタ次第デアリマス、第三ニハ二十七條第二項即チ手形デ言ヒマスレバ拒絶證書ニ當リマス所ノ巨額ノ證明書、其乍製ノ費

或ハ手形ノ嗜本ノ規定デアリマスト  
カ、或ハ無記名裏書ノ規定デアリマス  
トカ、ソレカラシテ引受ニ關スル規定  
ト云フヤウナモノハゴザイマセヌ、尙  
ホ此後ノ引受ノ點ハ、結局主タル債務  
者ガ、丁度引受人ニ當ルノデアリマス、  
是ハ別段引受ヲ致シマセヌデモ、債務  
者ハ絶體ニ責任ヲ負ッテ居リマスカラ、  
サウ云フ規定ヲ準用致サナカツタ次第

午後二時十七分開議

セ又場合ニ於ケル所持人ノ責任ノ規定  
デアリマシテ、此場合ニハ別段ニ償還  
請求權ソレ自身ヲ失フト云フヤウナ問  
題、一言ハシメテ、唯ニモアツテ生ジタ

用其外道知人費用等

是ハ公示催告ニ依ル指圖債券、指圖證  
券ニ無效ニ爲シ得ルト云フ規定デアリ  
マス、抵當證券ニソレヲ唯準用致シマ

括シテ政府委員ノ説明ヲ求メマス  
○長島政府委員 三十五條ハ償還請求

損害ヲ裏書人ニ對シテ賠償ヲスルト云  
フコトニナルノデアリマス

三十九條ハ時效ノ規定デアリマシテ、低當證券ノ所持人ガ其裏書人ニ對

除權判決ニ依テ執行セラレテ是ガ再下附ヲ求メ得ルト云フノ前提ニナルノデ

競賣代金ヲ受取テ尙ホ不足ガアリマ  
間内ニ競賣ノ申立ヲ致シマシテ、若シ

償還ノ請求ニ應ジテ償還ヲ爲ス裏書人ノ請求ヲ爲シ得ル金額ノ範圍ヲキメテ

受取ツタ日、競賣ヲ致シマセヌ時ニハ競  
賣ヲセヌデモ宜イト云フ許可ヲ得マシ

四十一條ハ不動産登記法ヲ抵當證矣  
法ニ準用致シタノデアリマシテ、大體

二日間内、又競賣ヲ致シマセヌ場合ニ  
ハ三十二條ノ規定ニ依ツテ競賣シナリ

一ニハ元本ト、ソレカラ支拂ノ請求ヲ  
致ス日マデノ利子デアリマス、利息ガ

シマフ 裏書人ノ前者ニ對スハ併選  
求權ハ、是ハ償還ヲ爲シタ日カラ六月  
デ時效ニ依ツテ宵威スルコトニナルル

月 読先生發行ニ付スル責付未定ニシテ  
ソレカラシテ登記ノ申請書ノ字ヲ極クア  
丁寧ニ、字劃ヲ明瞭ニ書ケトカ、ソレカラ

五日間内ニ、各裏書人ノ全員ニ對シテ  
償還請求ノ通知ヲ發スルコトニ致シタ

出来ナインテアリマスガ、利息カアリマスレバ、即チ約定利息ニ依ル利率ニ達ツキ、其利息ノ清式ヲ教スノダリアリマス。

テアリテス

サウ云フコトヲヤハリ抵當證券ノ發行  
ニ付テ準用致シテ、同ジ取扱ニシタト

三十六條ハ其償還請求ノ通知ノ問題並ニ二十九條第二項ノ通知ノコトニ付

付爲シマシテ、法定利率ニ依ル利息ヲ支

大體ハ同ジ取扱ヒヲ受クルコトニナシ  
準用致シタノデアリマシテ、殆ド手形ト

云フ程度ノモノテアリマス  
○藍川委員 一寸御伺ヒ致シマスガ、  
表テ一枝ニ三折ノ書

テ規定ヲ致シテ居ルノデアリマシテ、  
是等ノ場合ニ於ケル裏書人ニ對スル通

拂フノデアリマス、即チ假令約定ニハ  
無利子デアリマシテモ、其後ハ遲延債

ノデアリマスガ、唯前ニ申シマシタカ  
ウニ手形保證ノ規定デアリマストカ、

此裏書人ガ先ノ條文ニ依テ住所ヲ書カ  
ナケレバナラヌト云フコトニナツテ是

第五類第十二號 抵當證券法案(政府提出)外九件委員會議錄

リマシテ、其爲ニ三十六條ガアルヤウ デスガ、住所ヲ裏書人ガ書カナカタ場 合ニ、抵當證券トシテ效力ヲ有サヌコ トニナリマスカ	思ヒマスガ、私共ノ考ト、政府委員トハ 根本ニ於テ違ヒマスカラ、意見ノ相違 書クコトガ、裏書ノ要件ニナッテ居リマ スカラ、結局裏書ガナイト云フコトニ ナル譯デアリマス
○長島政府委員 詰リ裏書人ノ住所ヲ 書クコトガ、裏書ノ要件ニナッテ居リマ スカラ、結局裏書ガナイト云フコトニ ナル譯デアリマス	ハ仕方ガナイト致シマシテモ、吾々ト シテ考ヘレバ、土地建物ヲ競賣スルト 云フコトハ非常ニ都合ガ好イコトニナル シテ考ヘレバ、債權者ノ側カラ言ヘバ競 賣シテ早ク事件ヲ片付ケテシマウト云 ス、實際ニ於テ權利ハ一年二年經ッテモ 云フコトハ非常ニ都合ガ好イコトニナル ノデアリマスガ、債權者ノ側カラ言フ ト、一般ノ市民ト致シマシテモ、或ハ 國民ト致シマシテモ、競賣ヲ受ケル、競 賣ヲ申請サレタト云フコトダケデ非常 ニ信用ヲ害シ、又自分ノ事業ノ盛衰ニ モ非常ニ影響ガアル、債務者ハ債權ガ 片付クト云フ點ハ問題デナイ、モウ競 賣ヲ申請サレタト云フコトデ、總テノ 仕事ニ非常ニ影響ヲ受ケル、非常ニ重 大ナル意味ガアルノデアリマスカラ、 トニナルガ、證券ノ連續ニ付テモ……
○長島政府委員 ソレデ宜イト存ジマ ス	競賣ノ申請ト云フコトヲ、唯理窟カラ 考ヘテ行ケバ、貸シタ金ヲ取ルノニ物 ヲ取ツテシマフト云フコトハ差支ナイ、 バ宜イト存ジマス、裏書ノ要件ヲ缺イ タト云フ方デ、結局效力ガナイト云フ コトニナリハシナイカト思ヒマス
○勝田委員 連續ニ付テモ……	人ノ信用ヲ害シ、營業上ニ障碍ヲ來ス コト、思ヒマス、サウ云フヤウナ見地 ガ、政府委員ト吾々ト立場ガ違ツテ居リ マスカラ、多クハ意見ノ相違デヤラレ ノ争ニナリマスガ、結局連續ガナイト 云フテ宜イカ知レマセス
○大崎委員 私第三十條ノ「三月内」 ト云フコトニ付テ一寸御尋致シタイト	減シテシマフカラ、何デモ彼デモ競賣 求ヲ失フノハイヤデアリマセウカラ、 カラ言フト競賣ヲシナケレバ權利ガ消
○長島政府委員 裏書ガナイト ガナイト云フコトニナレバ、是ハ言葉 ノ争ニナリマスガ、結局連續ガナイト 云フテ宜イカ知レマセス	ル意味デアリマセスガ、三月内ニ競賣 ヲ申立テナイ場合ニハ權利ヲ失フト云 シテ権利ハアリマス、失フノハ償還請 餘計ニ苦シクナルト云フコトモアリマ セウガ、ソコマデ行ケバ、是ハ又一寸色

角當場ノ急トシテ借リルト云フコトハ、成タケ融通ガ自由ニナルト云フコトヲ、債務者ノ方デモ希望シテ居ル次第デアリマス、又聞キマスト、何デモ之ヲ農地ニ布イテ吳レロト云フコトヲ、農會ヤ何カデモ希望シテ居ルヤウデアリマスガ、ソレガ果シテ間違テナヒョウカ、本人ノ爲ニナル希望カ、本人ノ爲ニ損失ニナル希望カ分リマセヌガ、兎ニ角希望シテ居ルト云フコトハ、債務者ノ側ニモ實際ハアル譯デアリマス。

○大崎委員 細カイ質問ニナリマスケレドモ、個人ノ商人ガ競賣ヲ申請サレタト云フコトハ、其個人ニドンナ影響ヲ與ヘマスカ、ソレヲ御尋シテ置キマス。

○長島政府委員 ソレハ淘ニ困ル、個人ニ迷惑ナコト、思ヒマス、借金ヲシテ居ル人ガ、借金ノ催促ヲサレ、バ迷惑デアリマスガ、ソレハ一寸已ムヲ得ナイコト、思ヒマス。

○名川委員 大崎君ノ質問ノ點ニ付テ御伺シタインデスガ、只今政府委員ノ答ヘラレタノハ、甚ダ此競賣ト云フモノデアリマス、是ハ全國ノ銀行業者ナシテ居ルノデ、地方銀行ト云フモノハ、地方ノ大地主ガ皆重役ニナッテ居リ

マスガ、是ガヤハリ不動産ヲ擔保ニシテ銀行カラ金ヲ借リル、ソレガ今日ノトコトヲ御考ニナッテ、御起案ナスッタデアリマス、又シテ、何モ競賣ノ權利ガ喪失スル譯若シ競賣ヲヤルト云フト、アノ重役ガ行ガ取付ケフ食フ、ソレ故ニ銀行ノ重役ハ、今デハ借金ヲ拂フニモ拂フダケノ金ハナイ、米ハ安イシ、總テニ於テイカヌシ、ソレナリデ不動産ガ競賣セラレルト、直グ銀行ガ潰レルト云フヤウナコトニ今日ハナツテ居リマシテ、ドウニモ斯ウニモナラヌノデアル、貸シテ居ル銀行ト雖モ、今日ハ此競賣ナドニスルト、銀行ソレ自體ガ潰レルト云フコトニナリマスカラ、競賣ハ隨分控へテ居ルヤウナ次第デ、競賣ノ影響ハ勿論此案ガ此等ノ缺點ノナイモノトハ云フコトノ弊害モアリマス、デスカラ事ト何方ガ比較シテ多イカト云フ問題ニ結局ナル譯デ、マア私共ハ斯ウスルコトガ不動産ノ固定化ヲ防イデ、是ハ私ノ専門外ノコトニナリマスケレドモ、總テノ經濟界ニ好イ結果ヲ與ヘルノダラウト思ツテ提案シタ次第デアリ

○大崎委員 今政府委員ノ御答ヲ聞キテ居ル人ガ、借金ノ催促ヲサレ、バ迷惑デアリマスガ、ソレハ一寸已ムヲ得ナイコト、思ヒマス。

○長島政府委員 ソレハヤハリ裏書人ノ利益ヲ保護スル上ニ於テ「要ス」トシタノデアリマス、裏書人モ債務者ノ一人デアリマス、而シテ裏書人ハ償還ノ請求ヲ受ケルノデアリマスカラ、所持人ガ勝手次第ニ時ヲキメテ、例ヘバ三ヶ月以内ニ賣ルノハドウモイカヌ、スウ云フ御説明ガアリマシタガ、ソレモ御尤モデス、ケレドモ「要ス」ト云フ字ハ、詰リ三月以内ニ之ヲシナケレバナラヌト云フ茲ニ制限ヲ加ヘルカタ、今ノ半分ニナツテシマッタ云フモノハ、地方ノ銀行ノ重役ヲシテ居ルカラ、銀行ガ取付ヲ食フト云フコトニナッテ、是ハ財界ニ非常ナ大影響ナル、又裏書人ガ承知シナケレバ、否デモ應デモ其時ニ競賣ノ申請ヲシナケレバナラヌ「要ス」ト云フ字ヲ除イタカラト云ツテ、何モ競賣ノ權利ガ喪失スル譯デハナインデアリマス、「要ス」ト云フテ銀行カラ金ヲ借リル、ソレガ今日ノガ出來ナイ、拂フコトガ出來ナイカラ、ノデアルカドウカ、之ヲ私ハ伺ツテ置キ

○長島政府委員 段、後ノ差引ハ皆裏書人ノ方ニ行キマスカラ、ソレデ裏書人ノ利益ノ關係カラ時期ヲ制限シタノデアリマス、ソレデ裏書人ノ利益ガ毫モ害セラレナイト云フコトガ分レバ、裁判所ガ期間ヲ延バスコトモアルシ、又裏書人全部ガ同意致スデアリマセウ、サウ云フ方法ニ依ツタノデアリマス、「要ス」ト云フノハ要スルニ裏書人ノ利益ヲ考ヘタノデアリマス、デアリマスカラ、初メ借リタ人ニ對シテハ決シテ競賣ノ申立ヲナスコトヲ要サナイ譯デス	云フ所持人ニ義務ガアル譯デアリマスガ、若シ其中ニ有力ナ拂ヘサウナ人間ニ通知ヲ怠ツテ居ッテ、例ヘバ甲乙丙ニ云フ所持人ニ義務ガアル譯デアリマス、ソレデ裏書人ノ利益ヲ考ヘルト考ヘルノデラ時期ヲ制限シタノデアリマス、ソレデ裏書人ノ利益ガ毫モ害セラレナイト云フコトガ分レバ、裁判所ガ期間ヲ延バスコトモアルシ、又裏書人全部ガ同意致スデアリマセウ、サウ云フ方法ニ依ツタノデアリマス、「要ス」ト云フノハ要スルニ裏書人ノ利益ヲ考ヘタノデアリマス、デアリマスカラ、初メ借リタ人ニ對シテハ決シテ競賣ノ申立ヲナスコトヲ要サナイ譯デス
○板谷委員 抵當權ガ實行サレマシテ競賣ノ結果、其金額ガ債權ニ充タヌト云フ場合ニ於キマシテハ、前者ニ要求スルト云フコトニナツテ居ルノデアリマスカラ、抵當證券ガ、例ヘバ甲、乙丙ニ輾轉シタ場合ニ於キマシテ、丙ガ抵當權ヲ實行シタ際ニ債權ニ充タナカニ要求ヲスルト云フヤウナ順序ニナル譯デスナ	○長島政府委員 サウ云フ例モアリマスガ、本案ハサウ云フ主義ヲ採リマセヌデ、證券請求權ノ問題トシテハ、通じヌテ云フヤウナコトカラマスカラ、抵當證券ガ、例ヘバ甲、乙丙ニ輾轉シタ場合ニ於キマシテ、丙ガ抵當權ヲ實行シタ際ニ債權ニ充タナカニ要求ヲスルト云フヤウナ順序ニナル譯デスナ
○長島政府委員 所持人ガ前者ニ請求ヲ致シマスノハ、必シモ直接ノ前者ヲ選バナイデモ宜イノデアリマス、ドレデモ資力ノアリサウナ者ニ請求シテ宜イノデアリマス	○長島政府委員 サウ云フ例モアリマスガ、本案ハサウ云フ主義ヲ採リマセヌデ、證券請求權ノ問題トシテハ、通じヌテ云フヤウナコトカラマスカラ、抵當證券ガ、例ヘバ甲、乙丙ニ輾轉シタ場合ニ於キマシテ、丙ガ抵當權ヲ實行シタ際ニ債權ニ充タナカニ要求ヲスルト云フヤウナ順序ニナル譯デスナ
○板谷委員 サウシマスト必ズ各裏書人ニ對シテ通知ヲシナケレバナラヌト	○勝田委員 是ハ無記名裏書ヲ御認メニナツテ居ラヌノデスカ
○勝田委員 是ハ無記名裏書ヲ御認メニナツテ居ラヌノデスカ	○長島政府委員 其通リデアリマスガ、若シ其中ニ有力ナ拂ヘサウナ人間ニ通知ヲ怠ツテ居ッテ、例ヘバ甲乙丙ニ云フ所持人ニ義務ガアル譯デアリマスガ、ソレニテ居ル者ニスヤウナ場合ガアリ得ルト考ヘルノデス、無記名デアッテモ、記名裏書同様モ限リマセヌガ、其通知ヲ怠ツタモノハ、從テ償還請求ノ義務ガナクナルト云フ風ニ考ヘラレルノデスガ、其邊ハドンナ關係ニナルノデアリマスカ、全部裏書人ガ通知シナイ場合ニ於テ、サウ云フ例モアルカト思ヒマス
○長島政府委員 ソレハ種々ナ點カラ故障ガ起リマス、徵稅ト云フヤウナ關係、所得稅ノ徵稅等ノコトモアリマスガ、サウ云フ例モアルカト思ヒマス	○長島政府委員 ソレハ種々ナ點カラ故障ガ起リマス、徵稅ト云フヤウナ關係、所得稅ノ徵稅等ノコトモアリマスガ、サウ云フ例モアルカト思ヒマス
○長島政府委員 サウ云フ例モアリマスガ、本案ハサウ云フ主義ヲ採リマセヌデ、證券請求權ノ問題トシテハ、通じヌテ云フヤウナコトカラマスカラ、抵當證券ガ、例ヘバ甲、乙丙ニ輾轉シタ場合ニ於キマシテ、丙ガ抵當權ヲ實行シタ際ニ債權ニ充タナカニ要求ヲスルト云フヤウナ順序ニナル譯デスナ	○長島政府委員 サウ云フ例モアリマスガ、本案ハサウ云フ主義ヲ採リマセヌデ、證券請求權ノ問題トシテハ、通じヌテ云フヤウナコトカラマスカラ、抵當證券ガ、例ヘバ甲、乙丙ニ輾轉シタ場合ニ於キマシテ、丙ガ抵當權ヲ實行シタ際ニ債權ニ充タナカニ要求ヲスルト云フヤウナ順序ニナル譯デスナ
○長島政府委員 法律ハ脫法行爲ハ表意デアル、斯ウ云フコトニナル譯デアリマス	○長島政府委員 法律ハ脫法行爲ハ表意デアル、斯ウ云フコトニナル譯デアリマス
○長島政府委員 法律ハ脫法行爲ハ表意デアル、斯ウ云フコトニナル譯デアリマス	○長島政府委員 法律ハ脱法行爲トシテ無
○長島政府委員 是モヤハリ裏書禁止ト云フ所マデ行カヌデモ宜クハナイ	○長島政府委員 是モヤハリ裏書禁止ト云フ所マデ行カヌデモ宜クハナイ
○長島政府委員 是モヤハリ裏書禁止ト云フ所マデ行カヌデモ宜クハナイ	○長島政府委員 是モヤハリ裏書禁止ト云フ所マデ行カヌデモ宜クハナイ

益々規定ヲ複雑ニスルコトハ困ルト云

フコトカラデアリマス

○勝田委員 議論ニナリマスガ、無記  
名裏書ヲ忍メラノナシ理由ト、無警保

名裏書未記ノ理由、無據傳  
裏書ヲ認メタト云フノト、思想ニ於テ

矛盾ト云フト語弊ガアリマスガ、行違

ガアルヤウニ思フノデアリマスガ……

○長島政府委員 實際ハマア無擔保事

書外外傳不宜不著身口云外傳一和尙也  
アリマス

○勝田委員 サウシマスト商法ノ手形

權ノ規定ヲ御準用ニナツテ居ル部分ト、

ナッテ居ナイ部分ノ理由ニ付キマシテ、大豐政府委員ノ説明ニナッタヤ

ウナ理由デ以テ、準用シナイト云フヨ

トニ伺ツテ宜シイノデスカ

○長島政府委員 ソレハサウデアリマ

ス、ソレテ御承知ノヤウニ裏書禁止ヲ

ルト云フヤウナコトハドウシテモ考へ

ラレナイノデスカラ、結局サウ御答シ

テ置キマス

○勝田委員 常識的ナ所ニ落著イテ

イガ宜カラウト云フ風ニ、常識的ナ御

見解ノ下ニ取捨シテ居ルト、斯ウ伺<sup>ツ</sup>テ

宜シイノデスカ  
の美易攻守委員

○長島政府委員　其通りテ万リマス

○長島政府委員 附則ノ第一項ハ施行

第五類第十二號 抵當證券法案(政府提出)外九件委員會議錄

第五回 昭和六年二月二十六日

續ニナリマスノデ、今委員長カラ仰セ  
ノ趣旨ニ從ツテ、必要ナ點ダケヲ大體申  
上ゲヤウト思ヒマス、二十八條ハ、債  
務者ノ表示ノ變更登記ノコトデアリマ  
スガ、是ハ前ノ法案デモゴザイマシタ  
通り、抵當證券ノ支拂ノ請求ト云フモ  
ノハ支拂ノ場所デスルガ、若シ支拂ノ  
場所ガ抵當證券ニ記載ガナケレバ、其  
登記面ノ場所デヤルト云フコトニナッ  
テ居リマスノデ、債務者ノ住所ガ移轉  
ヲ致シマシタヤウナ場合ニ於テハ、債  
務者ガ其自己ノ登記ノ住所ヲ變更新スル  
コトガ出來ネバナラナインデアリマ  
ス、サウ致シマセヌト、唯登記面デ無  
闇ニ請求ヲサレル、其處ニ居ラナカッ  
タカラト云フノデ、拒絕證書ヲ作ラレ  
ル虞レガアリマスカラ、ソコデ債務者  
ガ其自己ノ表示ノ變更登記ノ出來ルヤ  
ウニ致シタノデアリマス、ソレカラ四  
十三條ハ、ソレニ關聯シタ規定デアリ  
マス、ソレカラ五十六條ハ、是ハ抵當  
證券ノ内容ニ變更ガアリマシタ場合ニ、  
其變更ヲ致ス手續デアリマス、前ニ申  
シマシタヤウニ、抵當證券ノ内容ノ變  
更ハ、抵當證券ヲ變更シ、且ツ登記ヲ  
變更シナケレバナラヌト云フコトニナ  
ツテ居リマスノデ、ソコデ變更登記ノ  
申請ノ方法ト致シマシテ、若シ抵當證  
券ガ出テ居リマス場合ニハ、抵當證券  
ヲ一緒ニクツ付ケテ登記ノ變更ノ申請

ヲスル、サウシテ其變更ノ申請ニハ、若シ利害關係ヲ持テ居リマスレバ、其者ノ承諾書ガ要リマスカラ、其承諾書ヲ附ケマス、サウンテ登記ノ變更ヲ求メル、承諾シナイ時ニハ、ソレニ對スル裁判デ勝訴ヲ得マシタ判決書ヲ附加ヘテ、サウシテ登記ノ變更ノ申請ヲスルコトニ致シマシタ、斯ク致シマシテ登記ガ變更ニナリマスト、本法ノ方ノ十九條ニ依リマシテ、登記官吏ガ抵當證券ノ方モ一緒ニ直ス、斯ウ云フ風ニ登記法ト抵當證券法トノ連絡ヲ附ケマシタノデアリマス、六十五條ハ是ハ抹消登記ノ回復ノコトデ、記載ノ變更ト同ジャウナ、權利ノ内容ノ變更シタ時ハ、大體同ジャウナ方法ニ致シマシタノデアリマス、八十一條ハ權利ノ内容ガ變ツタノデハアリマセヌ、權利ノ目的物、即チ例ヘバ抵當權ノ目的ニナッテ居ル土地ノ變更ノアツタ場合ニ、登記ノ記載ヲ變更サセルコトデアリマシテ、是モヤハリ權利自體ノ内容ガ變ツタトキト同ジャウナ振合ニ據ラレタノデアリマス、百十七條ノ規定ハ、是ハ抵當權ノ設定登記ノ記載事項ヲ、稍改メタノデアリマシテ、ソレハ本法ノ方ニ記載スペシト云フコトニナッテ居リマスカラ、ソレト相關聯致シマシテ、

元本利息ノ支拂場所ヲ、ヤハリ抵當權設定登記ノ內容トシテ、登記ヲスルト云フコトニ致シマシタ、ソレカラ若シ抵當證券發行ノ特約ガアリマスレバ、ソレハヤハリ登記スペキモノデアリマスカラ、其事ヲモヤハリ抵當證券設定登記ノ內容ノ中ニ、附加ヘマシタヤウニ致シタ次第デアリマス、ソレカラ百二十六條ノ三ノ改正規定デアリマスガ、是ハ抵當證券交付申請ガアリマシテ、若シ登記官吏ガ之ヲ交付シマシタ時ニハ、職權デ、抵當權設定ノ登記所ヘ、抵當證券交付済ト云フコトヲ附記致シテ置キマス、ツマリ登記簿ヲ見レバ、此抵當權ハ既ニ抵當證券ガ出テ居ルカドウカト云フコトガ分ルヤウニ致シタ次第デアリマス、其外ハ非常ニ細カイ規定デアリマシテ、徒ニ説明ガ複雜スルバカリデ、大シテ重要デアリマセヌカラ省略致シタイトと思ヒマス○名川委員此登記法ノ添付書類ニ、抵當證券アル時ニハ、所持人ト裏書人ノ承諾書ヲ付ケロ、斯ウ云フコトニナツテ居リマスガ、若シ抵當證券ヲ一緒ニ持ツテ行ク場合ナラ宜シウゴザイマスクト云フコトヲ書イテアリマスガ、抵ケレドモ、六十五條ニハ承諾書又ハ之ニ對抗スル所ノ裁判ノ勝本ヲ持ツテ行

デモ分ラヌノデアリマスカラ、ソレニ  
承諾書ト云フモノヲ假ニ附ケテ行ツテ  
モ、ソレガ登記官吏ニハ分ラヌデセウ、  
是ガ所持人デアルカドウカ分ラヌデセ  
ウ、嘘ノモノヲ所持人トシテ附ケテ行ツテ  
モ、ソレヲ承諾シタモノデアルト譯  
信シテ登記スルト云フヤウナ不都合ナ  
結果ヲ、生ズルコトガアリハシナイカ  
ト思ヒマスガ其點ハドウデスカ

○長島政府委員 少シ私ノ言葉ガ足リ  
ナカツタカモ知レマセヌガ、六十五條  
ハ、條文ヲ御覽下サレバ分リマスガ、  
抹消登記ノ回復デアリマス、抹消ニナ  
ルモノデアリマスカラ、抵當證券ハ登  
記所ノ方ニ行ツテ居ル譯デアリマス、ソ  
レヲ回復スルノデアリマスカラ、此時  
ハ抵當證券ノ添附ハ要ラナイ譯デアリ  
マス、一寸言葉ガ足リマセヌデシタ

○名川委員 抹消登記ヲ申請スルノニ  
ハ、例ヘテ見マスレバ、地上權ニ對シ  
テ抵當權ヲ設定シタ場合ニ、地代ヲ三  
年モ四年モ地上權者ガ拂ハナイノデ、  
地主ノ方カラ、其地上權ノ抹消登記ヲ  
裁判ノ傍本ガ要ルコトニナルト思フノ  
請求スルト云フヤウナ場合ニハ、此百  
四十六條デ承諾書又ハ之ニ對抗スベキ  
抵當權ヲ持ツテ居ル者ガ承諾スル譯ハ  
デアリマス、ソンナヤウナ時ニ、到底  
勝訴ノ判決ヲ受ケテ、其傍本ヲ付ケナ

ケレバナラナイガ、ソンナ時ニ抵當證券ノ所持人ガ、ドンヽ＼輾轉シタリ致依テ承諾書ヲ取ルト云フコトガ出來ナクナルダラウト思ヒマスガ、サウ云フ時ニハ如何ニシテ救濟ガ出來ル積リデゴザイマスカ

○長島政府委員 誠ニ御尤ナ御尋ニアリマスガ、サウ云フ所カラシテ此無記名裏書ト云フモノヲ禁止シマシテ、成ベク探知スルコトガ出來ルヤウニシテ居ルノデアリマス、サウシテ一旦探リ當テレバ、ソレカラ後ハ假處分カ何カデ移轉ヲ禁止スルコトニナルト思ヒマス、何處ニ抵當證券ノ所持人ガ居ルカ分ラヌト云フ非常ニ稀有ナ場合ガ起ルト致シマスト、是ハ洵ニ困ッタコトニナリマスガ、是ハ非常ニ稀有ナ場合デアリマシテ、抵當證券ニ付テハ所持人ヲ探ツテ行ケバ常ニ分ルト云フコトノ前提ノ下ニ出來テ居ルノデアリマス、併シ仰セノヤウニ、非常ニ稀有ノ場合ガ起ルト困ルト思ヒマス

○名川委員 其點ヲ續イテ御尋ヲ致シタイト思ヒマス、今政府委員カラ假處分ト云フ御話ガゴザイマシタガ、是ハ抹消登記ノ場合デナク、抵當權ノ設定ノ取消ヲ求ムル場合ナドデモ同ジコトガ起ルト思フノデアリマス、抵當證券ノ所持人ガ、何處ノ何兵衛ダト云フコ

トヲ突止メマシテ、ソレニ對シテ訴ヲ起スト云フコトニナリマスト、直グソスガ、併ナガラ所謂假處分ノ命令ヲ出シマスト、土地ノ所有者ガ遂ニ判決ニテゴザイマスカ

○長島政府委員 誠ニ御尤ナ御尋ニアリマスガ、サウ云フコトガドウ云フルト、是ハ殆ド訴訟ノ目的ヲ達スルコレガ出來ナクナルノデアリマスカラシテ、假處分ヲスルト云フコトガドウシノ必然的ニ起ルト思フノデアリマス、其假處分ヲスルニハ、執達吏ニ抵當證券ヲ差押サセルト云フコト以外ニ方法ガナカラウト思フノデアリマス、併シ斯ウ云フ假處分ヲ決定シテ、執達吏ガ行ッタ所デ何處ヘ隱シテ居ルカ分ラナイ、ソンナモノハ自分ノ所ニハナイ、他人ニ預ケテ置クトカ、辯護士ニ渡シテ居ルトカ、他人ニ讓渡スルトカ云フコトヲヤルカラ、殆ド實際ニ於テアリマシテ、假處分ト云フモノガ行ハレナイト私ハ思フノデアリマス、是ガ從來ノ抵當權デアルナラバ、假處分ノ決定ヲ登記ニ達シマスケレドモ、抵當證券ニ付テハ、斯、方々輾轉シテ、ドウシテモ取戻ス

○長島政府委員 成程仰セノ如ク潛脱

スル場合ハ相當多クナルカモ知レマセヨ探シテ訴ヲ起ス、スルト又訴訟繼續中ニ名義ヲ換ヘラレルト云フコトニナレヲ又他人ノ名義ニ書換ヘル、又ソレルト、是ハ殆ド訴訟ノ目的ヲ達スルコレガ出來ナクナルカト云フコトニナルト云フト、チヨット今之ヲドウ云フテモ必然的ニ起ルト思フノデアリマス、其假處分ヲスルニハ、執達吏ニ抵當證券ヲ差押サセルト云フコトハ嚴規定ヲ考ヘテ居リマセヌ、強制執行ノ方法ガナカラウト思フノデアリマス、併シ斯ウ云フ假處分ヲ決定シテ、執達吏ハ、執行ヲ潛脱スルト云フコトハ嚴規定ヲ考ヘテ居リマセヌ、強制執行ノ方法ガナカラウト思フノデアリマス、モ大ニ考慮シナケレバナラスカト存ジマス

○名川委員 其點ニ付テ私ハ一言希望ヲ申上ゲテ置キマスガ、最モ現在ニ於テ困ッテ居リマスノハ、恩給年金ナドノ云フコトヲヤルカラ、殆ド實際ニ於テ證書ヲ擔保ニ入レテ金ヲ借リル、是ハ法律ノ許サヌ事デアルケレドモ、實際ニ於テヤッテ居ルノデアリマスガ、是ハ是ハ配當ノ場合ノ異議ノコトデアリマスカラ其次ハ六百四十八條ハ、所謂強制執行ノ利害關係人ノ中ニ抵當證券ノ所持人ト、裏書人ヲ入レマシテ、例ヘバ競賣期日ノ通知ナドハ、ヤハリ是等ノ者ニ通知スルト云フコトニ致シタノデアリマス、ソレカラ六百九十八條ハ、是ハ配當ノ場合ノ異議ノコトデアリマシテ、愈々競賣代金ヲ配當致シマス際ニ、其競賣期日ニ異議ガ落著致シマスシテ、其競賣期日ニ異議ガ落著致シマスニ、其競賣期日ニ異議ガ落著致シマスレバ宜シイノデアリマスガ、異議ガ落著致シマセヌト、其異議ヲ言ツテ居ルサナケレバ異議ガ言ヘナイコトニナリマスカラ、占有セシケレバナラヌノデアラシテ、占有ト云フコトハ事實ニ於テ行ハレヌカラ、非常ニ不便ヲ感ズルヲ借リタ爲ニ、恩給證書ヲ取上ゲラレノデアリマスガ、ソレニ付テハ何カ適ハリ假處分ヲシヤウト云フテモ、實際ニ於テハ行ハレスコトニナルノデアリマスカラ、本法ノ施行ニ關スル規則ヲキマセヌ、ソレデ結果其場合ニハ所持人ニ對シテ異議ヲ言ツテ居ル場合ニハ、抵當證券ノ所持人ハ何處ニ居ルテ居ルノデアリマス、所ガ抵當證券ノ所持人ニ對シテ異議ヲ言ツテ居ル場合ニハ、抵當證券ノ所持人ハ何處ニ居ルカト云フコトガ分リマセヌカラ、到底七日ノ期間内ニ訴ヲ起スト云フ譯ニ行

人ノ知レタ日カラ、七日以内ニ訴ヲ起  
スト云フコトニシテ、知レタ日ヲ詰リ  
同ジ七日デアリマスガ、起算日ガ違フ  
ノデアリマス、普通ノ場合ニハ配當期  
日カラ七日以内デアリマスガ、是ハ抵  
當證券ノ所持人ガ知レタ日カラ七日間  
ト云フヤウニ期間ヲ延バシタ譯デアリ  
マス

○荒川委員長 別ニ御質疑ガナイヤウ  
デアリマスカラ、競賣法中改正法律案  
ニ移リマス

○長島政府委員 此二十四條第三項ノ  
規定ハ、抵當證券ノ所持人ガ競賣ヲ申  
立テルト云フ時ニハ、其申立書ニ抵當  
證券ヲ附ケテ出スト云フコトデ、是ハ  
當然ノ改正デアリマス、二十七條ノ三  
項ハ、ヤハリ強制執行ノ時ノ改正ト同  
ジヤウニ、知レタル證券ノ所持人ト裏  
書人ニハ競賣ノ通知ヲスルト云フヤウ  
ナコトヲ、此處ニ入レタノデアリマス、  
別ニ競賣ノ通知ヲスル必要ガアリマス  
カラ、此處ニ加ヘタケノモノニアリ  
マス

○荒川委員長 之ニモ御質疑ガナイヤ  
ウデアリマスカラ、民事訴訟用印紙法  
中改正法律案ニ移リマス

○長島政府委員 此抵當證券法ノ三十  
四條ニ「本法ニ依ル裁判ノ費用ニ付テ  
ハ民事訴訟費用法第十六條及民事訴訟

用印紙法第十六條ノ規定ニ依ル」トア

リマス、ソコデ十六條ノ規定ガ當然來  
ス六條ノ規定デハ、抵當證券發行ノ際  
ノ異議ノ申立ト、ソレカラ競賣ヲヤラ  
ハ、特ニ規定ガ缺ケテ居リマスカラ、  
ソレヲ茲ニ附加ヘタ次第デアリマス、  
サウ云フコトニナリマスト、結局手數  
料ハ——印紙代ハ十六條ノ二項ニ依リ  
マスレバ、請求額ガ二十圓以下デアリ  
マスレバ五十錢、二十圓以上デアリマ  
スレバ一圓ノ印紙ヲ貼ルコトニナリマ  
ス、結果異議ノ申立ト、ソレカラ競賣  
シナイデ宜シトイ云フコトノ許可ノ申  
立ハ、價格ガ二十圓以下デアレバ、五  
十錢、二十圓ヲ超エレバ一圓ノ印紙ヲ  
貼ルト云フコトニナル次第デアリマス  
○荒川委員長 是デ一通リ司法省ノ關  
係ノ法案ヲ終リマシタ、是ヨリ大藏省  
業銀行法中改正法律案ノ大體ノ箇條ニ  
付テ、政府委員ノ御説明ヲ求メマス

委員長ノ御示ニ依リマシテ、大略サウ

云フ方法デ申上ゲタラドウカト思フノ  
ノデゴザイマス

ノイノデゴザイマス、ソレカラ其次ノ  
リマス、ソコデ十六條ノ規定ガ當然來  
ス六條ノ規定デハ、抵當證券發行ノ際  
ノ異議ノ申立ト、ソレカラ競賣ヲヤラ  
ハ、特ニ規定ガ缺ケテ居リマスカラ、  
ソレヲ茲ニ附加ヘタ次第デアリマス、  
サウ云フコトニナリマスト、結局手數  
料ハ——印紙代ハ十六條ノ二項ニ依リ  
マスレバ、請求額ガ二十圓以下デアリ  
マスレバ五十錢、二十圓以上デアリマ  
スレバ一圓ノ印紙ヲ貼ルコトニナリマ  
ス、結果異議ノ申立ト、ソレカラ競賣  
シナイデ宜シトイ云フコトノ許可ノ申  
立ハ、價格ガ二十圓以下デアレバ、五  
十錢、二十圓ヲ超エレバ一圓ノ印紙ヲ  
貼ルト云フコトニナル次第デアリマス  
○荒川委員長 是デ一通リ司法省ノ關  
係ノ法案ヲ終リマシタ、是ヨリ大藏省  
業銀行法中改正法律案ノ大體ノ箇條ニ  
付テ、政府委員ノ御説明ヲ求メマス

ニ認メル所ノ抵當附債權ヲ質トスル貸  
付金額ヲ權衡上入レタト云フ點ニ過ギ

ルノデアルガ、サウ致シマスト、茲ニ  
十六條ノ規定デハ、抵當證券發行ノ際  
ノ異議ノ申立ト、ソレカラ競賣ヲヤラ  
ハ、特ニ規定ガ缺ケテ居リマスカラ、  
四條ニ黒イ線ヲズット引張ッテアリマス  
ハ、無擔保ニナッテ居リマシテ、其貸付  
ノ方法ハ五箇年以内ニ於テノ定期償還  
ニ限リテ居リマシタノデ、今回更ニ「又  
ハ十箇年以内ニ於テ年賦償還ノ方法ニ  
依リ」ト云フコトデ、長期年賦ノ規定  
ヲ追加致シマシタ、但シ此種類ノ貸出  
デゴザイマスカラ、長期ト申シマシテ  
モ、餘リ長イノモ如何カト思ヒマシテ、  
二デ、ヤハリ是亦黒線ヲ入レテゴザイ  
マスガ、先程言ヒマシタ十四條ノ二ノ  
シタ次第デゴザイマス、次ニ十五條ノ  
二デ、ヤハリ是亦黒線ヲ入レテゴザイ  
マスガ、今回附加ヘタ關係上、茲ニ追加致  
シマシタト云フ趣旨ニ過ギナイノデゴ  
ザイマス、其次ハ三十一條ノ二デゴザ  
イマス、是ガ今度ノ改正ノ殆ド主要ナ  
トスル貸付ヲ認メテ居リマセヌデシタ  
ガ、今回附加ヘタ關係上、茲ニ追加致  
シマシタト云フ趣旨ニ過ギナイノデゴ  
ザイマス、三十一條ノ二ハ

日本勸業銀行ハ不動產ヲ抵當トスル

債權(抵當證券ヲ含ム)ヲ質トシテ五箇  
年以内ノ定期償還貸付ヲ爲スコトヲ

ル

ル

ル

ル

ル

ル

ル

ル

ル

ル

ル

ル

ル

ル

ル

ル

ル

ル

ル

ル

ル

ル

ル

ル

ル

ル

ル

ル

ル

ル

ル

ル

ル

ル

ル

ル

ル

ル

ル

ル

ル

ル

ル

ル

ル

ル

ル

ル

ル

ル

ル

ル

ル

ル

ル

ル

ル

ル

ル

ル

ル

ル

ル

ル

ル

ル

ル

ル

ル

ル

ル

ル

ル

ル

ル

ル

ル

ル

ル

ル

ル

ル

ル

ル

ル

ル

ル

ル

ル

ル

ル

ル

ル

ル

ル

ル

ル

ル

ル

ル

ル

ル

ル

ル

ル

ル

ル

ル

ル

ル

ル

ル

ル

ル

ル

ル

ル

ル

ル

ル

ル

ル

ル

ル

ル

ル

ル

ル

ル

ル

ル

ル

ル

ル

ル

ル

ル

ル

ル

ル

ル

ル

ル

ル

ル

ル

ル

ル

ル

ル

ル

ル

ル

ル

ル

ル

ル

ル

ル

ル

ル

ル

ル

ル

ル

ル

ル

ル

ル

ル

ル

ル

ル

ル

ル

ル

ル

ル

ル

ル

ル

ル

ル

ル

ル

ル

ル

ル

ル

ル

ル

ル

ル

ル

ル

ル

ル

ル

ル

ル

ル

ル

ル

ル

ル

ル

ル

ル

ル

ル

ル

ル

ル

ル

ル

ル

ル

ル

ル

ル

ル

ル

ル

ル

ル

ル

ル

ル

ル

ル

ル

ル

ル

ル

ル

ル

ル

ル

ル

ル

ル

ル

ル

ル

ル

ル

ル

ル

ル

ル

ル

ル

ル

ル

ル

ル

ル

ル

ル

ル

ル

ル

ル

ル

ル

ル

ル

ル

ル

ル

ル

ル

ル

ル

ル

ル

ル

ル

ル

<div data-bbox="91

得」ト云フ趣旨デゴザイマス、是ハ先程申上、ゲル機會モゴザイマシタガ、今回抵當證券法ノ創設ニ伴ヒマシテ、抵當證券ヲ質ト致シマス所ノ貸付ヲ認メタイト云フノガ一ツノ眼目デゴザイマス、ソレカラモウ一ツノ點ハ假令其モノガ抵當證券ニナッテ居リマセヌデモ、普通ノ不動産擔保ノ債權デアリマシテモ、是亦質トシテ貸出スコトガ出來ル、勸業銀行ノ方ノ側カラ申シマスト云フト、抵當證券ノ方ニモ同ジク質ノ貸付ガ出來ル、抵當證券ノ形ヲ取ラナイ一艘ノ不動産抵當ノ債權モ、同ジク質トシテ貸付ガ出來ル、之ヲ五箇年以内ノ定期償還ニ致シマシタノハ、此種ノ貸出ニ付テハ、年賦ト云フモノハ殆ド實例モナイノデアラウト思ヒマス、アルト致シマシテモ殆ド稀有ノ例デハナイカト思ヒマス、五年以内ノ定期償還貸付デアレバ、十分ニ經濟界ノ實狀ニ適合ズモノト考ヘタ次第デゴザイマス、尙ホ其第二項ノ方ハ、貸付ニ關シマシテ現在ノ勸業銀行法ニソレゾレノ規定ガゴザイマス、其規定ノ中デ準用ヲ適當トシテ居ルモノ、條項ヲ引イテアル次第デゴザイマス、其中ノ例ベバ十六條ノ第一項ハ、質入債權ノ擔保タル抵當權ハ、第一抵當タルヲ要スルト云フ規定ノ準用デゴザイマス、勸業銀行法ハ法律ノ全體カラ、抵當ヲ徵シマス場

合ニハ、總テ第一抵當タルコトヲ要スルト云フ規定ガゴザイマス、抵當附債權ヲ質トスル貸付ヲ認メマス場合ニモ、此本體ニ付テハ同ジヤウナ權衡ヲル次第ゴザイマス、尙ホ其他ノ十七條ノ準用ハ質入債權ノ抵當タル土地ハ永續スベキ確實ナル收益ノ見込アル十地ニ限ル、建物ニ付キマシテハ保險附モノニ限ル、但シ建物ニ付テハ相當ノ添抵當ガアリマスレバ保險ニ附ケナクトモ宜シイト云フヤウナ規定ニナムテ居リマス、煩シイト考ヘマスカラ一ハ申上グマセヌガ、現在ノ勸業銀行法ニ書イテアリマス貸付ニ關スル主ナル點ハ準用ヲ致シタ次第ゴザイマス、其次ニ第三十一條ノ三ハ「日本勸業銀行ハ抵當證券ノ賣買ヲ爲スコトヲ得」、是モ抵當證券ノ創設ニ伴ヒマシテ、此抵當證券ノ賣買ヲ認ヌルコトガ極メテ財界ノ現狀上必要ダト思ヒマシテ、其途ヲ開イタ次第ゴザイマス、テ抵當證券ノ買入ニ付キマシテハ、是レ規定期間ヲ大體ニ準用シテ居リマス次第、亦前ニ申シマシタ通り、貸付ニ關スル理ゴザイマスカラ之ヲ略シテ置キマス、其次ニ第三十二條ノ第二項ニナツテ居リマスガ「定期預り金ハ前項ノ外第十四條第二項及第三十一條ノ二ノ定期

償還貸付ニ之ヲ使用スルコトヲ得」会  
度新ニ創設セラレマシタ所ノモノト  
カ、業務ヲ追加致シマシタ方面ニモ、  
定期預リ金ヲ使フ途ヲ開イタノデアリ  
マス、定期預リ金財源ノ貸出ガ是デ出  
來ル譯デアリマス、ソレハ三十二條ノ  
三ニ「日本勸業銀行ハ其ノ發行スル債  
券ニシテ政府ノ所有又ハ保管ニ係ルモ  
ノヲ日本銀行ノ爲ニ管理スルコトヲ  
得」從來政府ノ所有若クハ保管ニ係リ  
テモ盡ク日本銀行ガ國庫ノ代理ヲ致シ  
テ居ル關係カラ行ナツテ居リマシタ、其  
中デ一番數ガ多クアリマスノハ、勸業  
銀行關係ノ證券デゴザイマスガ、其證  
券ノ枚數デ申シマスト、昭和五年十月  
三十一日現在デ例ヘテ見マスト、公儀  
ノ如キハ七十二萬七千九百五十四枚ト  
云フノニ對シテ、諸證券ハ五百九十九  
萬二千八百五十七枚、其一番多イ年ハ  
少シ前ニナリマスガ、大正十二年ノ如  
キハ七百七十萬四千三百六十三枚ト云  
フ風ナ工合ニ巨額ナモノヲ此勸業銀行  
發行ノ債券デ占メテ居ルヤウナ次第  
デ、日本銀行ノ庫ノ上カラ申シマシテ  
モ、亦斯ウ云フ風ナ仕事ノ元利支拂等  
ニ付キマシテノ手數ガ慣レナイ爲ニ、  
非常ニ不便ヲ訴ヘテ居リマシタ次第  
ゴザイマス、適當ナル機會ガアツチナラ  
バ是ハ慣レタ所デ、而モ倉庫ノ設備エ

ト今宜シイ所ノ勸業銀行ニヤラセタイト云  
トフ事務上ノ關係ガゴザイマシテ、今回  
ト此機會ニ於キマシテ之ヲ勸業銀行ガ  
ト日本銀行ノ爲ニ管理スルヤウニ致シタ  
トイ思ツテ居リマスヤウナ次第デアリマ  
トス、其次ハ殆ド條文ノ整理デアリマ  
トスカラ略シマシテ大體以上申上グマシ  
トタヤウナ趣旨デ、勸業銀行法ノ改正ヲ  
モ致シタイト思ツテ居リマス  
ト○大崎委員 第三十二條ノ三ノ、抵當  
シ證券ノ賣買ト云フコトガ能ク分リマセ  
シヌガ、ドンナ事デアルカチヨット御説明  
ヲ願ヒタイ  
○○板谷委員 抵當證券ノ賣買  
ハ、是ハ新シイ試ミデゴザイマスガ、  
ト今日既ニ手形ノ賣買ヲ致シテ居リマス  
トノト同ジ形式デヤツテ行ク積リデ居リ  
トマス  
○○大久保政府委員 只今修正ノ中ノ第三十二  
ト條ノ三「日本勸業銀行ハ其ノ發行スル  
ト債券ニシテ政府ノ所有又ハ保管ニ係ル  
トモノヲ日本銀行ノ爲ニ管理スルコトヲ  
ト得」是ハ從來日本銀行ガ保管シテ居  
タモノヲ、勸業銀行ガ保管ガ出來ルト  
云フノデスカ  
○○大久保政府委員 仰セノ通リデアリ  
マシテ、從前ハ日本銀行ガ政府ノ爲ニ  
ヤツテ居リマシタノデスガ、今度ハ國庫  
トシテハ、是ハ總テ日本銀行ガヤルコ  
トニナツテ居リマスカラ、日本銀行ノ

爲ニ勸業銀行ガ保管ヲ致シマス、此點ニ於テ代理ノ形ニナリマス

○板谷委員 隨テ利用ガ出來ルコトニナリマスカ

○大久保政府委員 イヤ國庫ノモノハ總テ利用ハ出來マセヌ、其點ハ全然サウ云フコトハ致シマヒヌ

○板谷委員 利用ガ出來ヌナラバ、殊更ニ勸業銀行ニ取扱ハセルコトハドウ云フノデアルカ、日本銀行ニ管理ヲサシテ居ツテモ差支ナイ、一番安全ト思ヒマスガ……

○大久保政府委員 是ハ全ク倉庫ノ關係ト、元利支拂ノ爲ニ、今申シタ通り何百萬枚ト云フ數字デアルカラ、勸業銀行デ、元金ガ償還ニナツタトカ、利拂ガ來タトカ云フ風ナコトニ付テハ、總ソレデ其手數ヲ勸業銀行ニサセルト云セス、左様御承知ヲ願ヒマス、先程仰セニ「水産業ノ爲貸付ヲ爲ス場合ニ於テ」付テハ、私ハ何レ改メテ其根本方針ニ付テ、承リタイト思ツテ居ツタノデアリマスガ、從來漁業權ノ擔保ト云フ

○板谷委員 一番初メニ、十四條ノ中ニ「水産業ノ爲貸付ヲ爲ス場合ニ於テハ漁業權ヲ抵當トスルコトヲ得」此間

○板谷委員 利用ガ出來ヌナラバ、殊

モノハ、御承知ノ通り、極メテ不確實デアリマス、例ヘバ漁業ヲ行フ上ニ於

キマシテハ、先づ第一ニ干場、漁業權及ビ漁船漁具ガ備ハラナケレバ出來ナ

イノデアリマス、所ガ債務者側ハ色々

ノ手段方法ヲ考ヘマシテ、愈々期日ガ

來テ金ヲ拂ヘヌ場合ニ於テハ、漁業權

ダケヲ引離ストカ、或ハ漁船漁具ダケ

ハ關係ガナイトカ、干場ダケハ引離ス

トカ云フヤウナコトデ、非常ニ不便不

都合ヲ感ジテ居ルヤウナ譯デアリマシ

テ、何トシテモ此漁業權ハ、工業財團

或ハ鐵道財團ノ如ク、詰リ漁業權、干

場、漁船、漁具、之ヲ打ツテ一丸トシテ、

漁業財團ヲ組織シナケレバ、漁業權ノ

擔保ト云フモノハ確實性ガナインデ、

吾々ハ多年此問題ニ付テ努力ヲシテ居

ル譯デアリマスガ、之ニ對スル政府ノ

方法ヲ採ツタナラバ、ヨリ良ク斯業ノ、

又斯界ノ希望ニ應ズルコトガ出來ルカ

ドウカト云フコトニ付テハ、絶エズ苦

心シ、調査研究致シテ居リマスケレドモ、今日ノ所マダ此法規ヲ改正スルト

云フマデニ、決定シマシタ名案ヲ得テ居ナイ次第デゴザイマス

○荒川委員長 農工銀行法中改正法律案、政府委員ノ説明ヲ求メマス

○大久保政府委員 農工銀行法ニ付キ要スルニ今申上げマス通リ、擔保トシテ極メテ不確實デアル、此關係ガ非常ニ重大デアリマスカラ之ヲ御伺シタイ

○大久保政府委員 仰セノ如ク、水產業ニ對スル金融ト云フモノハ、成ル程海カラスル金融ト云フモノハ、成ル程海カラ

○大久保政府委員 仰セノ如ク、水產業ニ對スル金融ハ頗ル重要ナモノデアルコトハ、吾々モ考ヘテ居リマスガ、シタ勸業銀行ノ方ノ改正ト揆モニシ

○大久保政府委員 仰セノ如ク、水產業ニ對スル金融ハ頗ル重要ナモノデアルコトハ、吾々モ考ヘテ居リマスガ、シタ勸業銀行ノ方ノ改正ト揆モニシ

○大久保政府委員 仰セノ如ク、水產業ニ對スル金融ハ頗ル重要ナモノデアルコトハ、吾々モ考ヘテ居リマスガ、シタ勸業銀行ノ方ノ改正ト揆モニシ

○大久保政府委員 仰セノ如ク、水產業ニ對スル金融ハ頗ル重要ナモノデアルコトハ、吾々モ考ヘテ居リマスガ、シタ勸業銀行ノ方ノ改正ト揆モニシ

○大久保政府委員 仰セノ如ク、水產業ニ對スル金融ハ頗ル重要ナモノデアルコトハ、吾々モ考ヘテ居リマスガ、シタ勸業銀行ノ方ノ改正ト揆モニシ

合ト雖モ拂込資本金、勸業債券發行高ノ半額以上ヲ市街地ニ使ツテハ相成ラヌト云フ規定ガ出來テ居ル譯ニアリマス、同じ精神ニ基キマシテ、農工銀行ノ方ニハ、此條項ガ四分ノ一カラ四分加減スルコトニ相成ツテ居ル次第デアリマス、第七條ノ所デハ、四分ノ一乃至四分ノ三ト申シマスノヲ、四分ノ一定ニナツテ居リマシタガ、今度府縣自身カラ全額マデ行クコトニシヤウト云フノデアリマス、是ハ極ク少イ例デゴザイマスガ、例ヘバ大阪ト云フヤウナ所ノ如キハ、殆ド市街地若クハ工場地帶ト云フコトデゴザイマシテ、此勅令ノ指定ノ範圍ニナツテ參ツテ居リマス關係上、今日四分ノ三ガ殆ドモウ制限額ニ達シテ居リマス次第デ、今後各種ノ仕事ガ殖エマスニ付キマシテハ、斯ウ云フ制限ガアツテモ、府縣ニ依ツテ困ルト云フ趣旨カラ、之ヲ全額マデ行キ得ルト云フコトニ致シマシタ、勿論勅令ヲ以テ加減スルト云フコトハ、從前通りテアリマス、其次ノ第七條ノ三ハ、不動產ヲ抵當トスル債權ヲ主トスルコトデ、勸業銀行ト同ジ事デアリマス、其次ノ七條ノ四ノ抵當證券ノ賣買、是モ勸業銀行ト同様デアリマス、其次ノ七

「府縣」ト云フ字ヲ入レマシタノハ先程テ居リマシテ、ソレハ謂ハド其附近ノ狀況ニ依リマシテ、勅令ヲ以テ其間ヲ加減スルコトニ相成ツテ居ル次第デアリマス、第七條ノ所デハ、四分ノ一乃至四分ノ三ト申シマスノヲ、四分ノ一定ニナツテ居リマシタガ、今度府縣自身カラ全額マデ行クコトニシヤウト云フノデアリマス、是ハ極ク少イ例デゴザイマスガ、例ヘバ大阪ト云フヤウナ所ノ如キハ、殆ド市街地若クハ工場地帶ト云フコトデゴザイマシテ、此勅令ノ指定ノ範圍ニナツテ參ツテ居リマス關係上、今日四分ノ三ガ殆ドモウ制限額ニ達シテ居リマス次第デ、今後各種ノ仕事ガ殖エマスニ付キマシテハ、斯ウ云フ制限ガアツテモ、府縣ニ依ツテ困ルト云フ趣旨カラ、之ヲ全額マデ行キ得ルト云フコトニ致シマシタ、勿論勅令ヲ以テ加減スルト云フコトハ、從前通りテアリマス、其次ノ第七條ノ三ハ、不動產ヲ抵當トスル債權ヲ主トスルコトデ、勸業銀行ト同ジ事デアリマス、其次ノ七條ノ四ノ抵當證券ノ賣買、是モ勸業銀行ト同様デアリマス、其次ノ七

行相互ノ間ニ於テ代理店タルコトヲ認メテゴザイマシテ、條文ノ整理ニ過ギナインデゴザイマス、ソレカラ二十條ニメル方ガ便利ダト云フ趣旨デ代理店タニコトヲ追加致シタ次第デゴザイマス、其次ガ二十四條ノ中デゴザイマス「府縣」ト云フ字ヲ入レマシタノハ先程テ居リマシテ、從前ハ市町村ダケノ場合ノ規定デゴザイマシタガ、市町村ノ場合ニハ其當該市町村ノハ、年賦償還貸付金ノ債權及其ノ擔保監督ノ責任ニ當ツテ居ル所ノ、所謂府縣タル抵當權ヲ擔保トシテ日本勸業銀行ニ處分方ヲ請求ヲスルト、斯ウ云フ規ガ借リマス譯ニナリマスモノデスカラ、其場合ニ於キマシテハ農工銀行ハノ法律ヲ以テ組織スル公共團體ニ對シガ借リマス譯ニナリマスモノデスカラ、其場合ニ於キマシテハ農工銀行ハ府縣ニ對シテハ内務大臣ニ、詰リ監督官廳ノ關係デゴザイマス、市町村其他ノ如キハ、殆ド市街地若クハ工場地帶ト云フコトデゴザイマシテ、此勅令ノ指定ノ範圍ニナツテ參ツテ居リマス關係上、今日四分ノ三ガ殆ドモウ制限額ニ達シテ居リマス次第デ、今後各種ノ仕事ガ殖エマスニ付キマシテハ、斯ウ云フ制限ガアツテモ、府縣ニ依ツテ困ルト云フ趣旨カラ、之ヲ全額マデ行キ得ルト云フコトニ致シマシタ、勿論勅令ヲ以テ加減スルト云フコトハ、從前通りテアリマス、其次ノ第七條ノ三ハ、不動產ヲ抵當トスル債權ヲ主トスルコトデ、勸業銀行ト同ジ事デアリマス、其次ノ七條ノ四ノ抵當證券ノ賣買、是モ度重ナリマシテ、各府縣ニ農工銀行ノ農業銀行ト同様デアリマス、其次ノ七

○荒川委員長 外ニ御質疑ガゴザイマセヌケレバ、北海道拓殖銀行法中改正法律案ニ移リマス、政府委員ノ説明ヲ	勸業銀行ハ、元々ノ建前ハ全國ノ中央ニ位シテ居リマシテ、地方ハ農工銀行ガ分擔シテヤル、斯ウ云フ建前ニナツテ居ツタノデアリマス、然ルニ十年程前ニ、勸業銀行農工銀行合併法ト云フモノガ制定セラレマシテ、其後農工銀行ノ方デ合併ヲ遂ゲマシタモノガ、今日マデ二十六行デアッタカゴザイマシタト思ヒマス、ソレ等ノ地方ニ於キマシテハ、皆勸業銀行ノ舞臺ニナリマシタ譯デゴザイマスカラ、其範圍内ニ於キマシテ、出來ルダケ支店ヲ設ケサシテ居ル次第デゴザイマス、現在農工銀行ガ存在シテ居リマス府縣ニ對シマシテハ、大體ニ於キマシテハ親子ノ關係デアリマスカラ、餘リサウ競争スルト云ウ形ニナルノハ面白クナカラウト思ウノデゴザイマス、尤モ大阪府ト云ウ風カラシテ、是等ノ所ニ於テハ支店ヲ設ケテ居ル次第デゴザイマス、今日ノ所勸業銀行が現在ノ計畫ト致シマシテ、直チニ支店ヲ設置スル場所ハゴザイマセヌノデス、ソレハ漸次サウ云ウ風ナ方針ヲ以チマシテ、出來ルダケ進メテ行キタイト云フ趣旨ヲ金融制度調査會ニ出シマシタ次第デゴザイマス	求メマス
○大久保政府委員 北海道殖拓銀行法ノ改正ニ付キマシテハ、殆ド勸業銀行テ居ツタノデアリマス、然ルニ十年程前ニ、勸業銀行農工銀行合併法ト云フモノガ制定セラレマシテ、其後農工銀行ノ方デ合併ヲ遂ゲマシタモノガ、今日マデ二十六行デアッタカゴザイマシタト思ヒマス、ソレ等ノ地方ニ於キマシテハ、皆勸業銀行ノ舞臺ニナリマシタ譯デゴザイマスカラ、其範圍内ニ於キマシテ、出來ルダケ支店ヲ設ケサシテ居ル次第デゴザイマス、現在農工銀行ガ存在シテ居リマス府縣ニ對シマシテハ、大體ニ於キマシテハ親子ノ關係デアリマスカラ、餘リサウ競争スルト云ウ形ニナルノハ面白クナカラウト思ウノデゴザイマス、尤モ大阪府ト云ウ風カラシテ、是等ノ所ニ於テハ支店ヲ設ケテ居ル次第デゴザイマス、今日ノ所勸業銀行が現在ノ計畫ト致シマシテ、直チニ支店ヲ設置スル場所ハゴザイマセヌノデス、ソレハ漸次サウ云ウ風ナ方針ヲ以チマシテ、出來ルダケ進メテ行キタイト云フ趣旨ヲ金融制度調査會ニ出シマシタ次第デゴザイマス	○大久保政府委員 北海道殖拓銀行法ノ改正ニ付キマシテハ、殆ド勸業銀行テ居ツタノデアリマス、然ルニ十年程前ニ、勸業銀行農工銀行合併法ト云フモノガ制定セラレマシテ、其後農工銀行ノ方デ合併ヲ遂ゲマシタモノガ、今日マデ二十六行デアッタカゴザイマシタト思ヒマス、ソレ等ノ地方ニ於キマシテハ、皆勸業銀行ノ舞臺ニナリマシタ譯デゴザイマスカラ、其範圍内ニ於キマシテ、出來ルダケ支店ヲ設ケサシテ居ル次第デゴザイマス、現在農工銀行ガ存在シテ居リマス府縣ニ對シマシテハ、大體ニ於キマシテハ親子ノ關係デアリマスカラ、餘リサウ競争スルト云ウ形ニナルノハ面白クナカラウト思ウノデゴザイマス、尤モ大阪府ト云ウ風カラシテ、是等ノ所ニ於テハ支店ヲ設ケテ居ル次第デゴザイマス、今日ノ所勸業銀行が現在ノ計畫ト致シマシテ、直チニ支店ヲ設置スル場所ハゴザイマセヌノデス、ソレハ漸次サウ云ウ風ナ方針ヲ以チマシテ、出來ルダケ進メテ行キタイト云フ趣旨ヲ金融制度調査會ニ出シマシタ次第デゴザイマス	求メマス
○大崎委員 勸業銀行法ノ第十四條第	北海道拓殖銀行デハ北海道廳ト云フモニ對シマスル貸出ヲ認メマシタ次第	ト考ヘマスノデ、今通過スル前ニ、政務官ノ御出イデラ願ツテモ、定メシ本
○板谷委員 私ハ主トシテ北海道拓殖銀行ノ問題ニ付キマシテ、根本ノ方針	デゴザイマス、其次ノ所ハ十人連帶ノ中產以下ノ方面ニ向ヒマシテ、十箇年以内ノ無抵當年賦償還貸付ヲ認メマシタ點デアリマス、其他ノ點ハ全部條文ノ整理デゴザイマシテ、特ニ附加ヘルコトハゴザイマセヌ、債券ノ發行高モ、居ルヤウナ次第デゴザイマス	及農工銀行以上ノ問題ハゴザイマセヌ、第七條ノ二ハ、先程勸業銀行農工銀行デ申上ゲタト同ジャウニ、不動産ヲ抵當トスル債券ヲ質トスル貸付ヲ認メマシタノデアリマス、其次ニハ第七條ノ三ハ、抵當證券ノ賣買ヲ認メマシタ、第八條ハ農工銀行ノ府縣ニ對シテマシタノデアリマス、其意味デ、本日ハ散會ヲ願戴キタイ、其意味デ、本日ハ散會ヲ願ヒタイト思ヒマス
○荒川委員長 御希望ニ副フヤウニ致マス	北海道拓殖銀行デハ北海道廳ト云フモニ對シマスル貸出ヲ認メマシタ次第	吾々委員ニ相當ノ研究ノ餘地ヲ與ヘテ
○大崎委員 勸業銀行法ノ第十四條第	デゴザイマス、其次ノ所ハ十人連帶ノ中產以下ノ方面ニ向ヒマシテ、十箇年以内ノ無抵當年賦償還貸付ヲ認メマシタ點デアリマス、其他ノ點ハ全部條文ノ整理デゴザイマシテ、特ニ附加ヘルコトハゴザイマセヌ、債券ノ發行高モ、居ルヤウナ次第デゴザイマス	會議ガアツテ遅レルト思フノデドウカ
○大久保政府委員 是ハ同ジク入ルノ	三項デ、貸付金ニ付テ二倍ヲ超過スルコトヲ得ズト制限サレテ居リマスガ、抵當證券ヲ賣買シタモノハ、此中ニ含マリモ一年前デアルコトヲ公正證書ヲ以テ證明致シマシタ時ニ限リマシテ、其債權ハ國稅ニ優先スルコトニナツテ居リマス、然ルニ今回抵當證券ノ制度ガ出来マシテ、納稅者ノ財產ノ上ニ設定セラレマシタ抵當權ニ付キマシテ、抵當證券ガ發行セラレマシタ場合ニ、其抵當證券ハ、甲カラ乙ヘト段々ニ輾轉致シマシテ、現在ノ抵當證券ノ所持人ガ何人デアルカト云フコトガ稅務署ノ方デ分ラナクナツテシマヒマセヌケレバ、登記簿ノ面ニ於テ、今稅務署ガ處當證券ト云フモノガゴザイマセヌケレバ、持ツテ居ル人ガ誰デアルカト云フコトガハツキリ分リマスカラ、其人ニ通知スルコトモ出來マスケレドモ、此抵當證券ガ發行セラレマシテ、ソレガ輾轉致シマスト、稅務署デ或人ガ滯納シタカ	言換ヘテ申シマスレバ、國稅ヲ滯納致シマシテ、其滯納ニ付テ滯納處分ヲ致シマシテ納稅人ノ財產ヲ處分致シマス財產上ニ、誰カ質權又ハ抵當權ヲ持ツテ
○荒川委員長 ソレデハ國稅徵收法中改正法	改正法律案ノ審議ニ移リマス、政府委員ノ説明ヲ求メマス	セラレマシタ時期ガ、國稅ノ納期限ヨリモ一年前デアルコトヲ公正證書ヲ以テ證明致シマシタ時ニ限リマシテ、其意味デ、本日ハ散會ヲ願ヒタイト思ヒマス
○青木政府委員 國稅徵收法中改正法	改正法律案ノ審議ニ移リマス、政府委員ノ説明ヲ求メマス	居リマスト、其質權又ハ抵當權ノ設定セラレマシタ時ニ限リマスガ、國稅徵收法ニ依リマスト、第三條デアリマスカ、納稅人ノ財產上ニ質權又ハ抵當權ヲ有スル者ガ、其質權又ハ抵當權ノ設定ガ國稅ノ納期限ヨリモ一年前ニアルコトヲ公正證書ヲ以テ證明致シマスト、稅務署デ或人ガ滯納シタカ

ガ發行セラレテ居リマスト、抵當證券ノ所持人即チ抵當權者ニ稅務署カラ通知スルコトガ出來マセヌ、サウシマス其抵當證券ノ所持人、即チ債權者ガ、其抵當權ノ設定ガ國稅ノ納期限前一年以上デアルニモ拘ズ其先取權ヲ——優先權ヲ行使スルノ機會ヲ失フヤウナコトニナリマシテ、甚ダ不都合ナコトニ相成ルノデアリマス、ソレデアリマスカラ斯様ナ場合ニ於テハ、相當期間ノ猶豫ヲ與ヘテ其抵當證券ノ所持人、即チ抵當權者ニ權利行使ノ機會ヲ得セシムル必要ヲ認メタノデアリマス、ソレデ只今御審議ヲ願ツテ居リマスヤウニ、此國稅徵收法ノ第二十八條ニ於キマシテ「物件ノ賣却代金、差押ヘタル通貨及第二十三條ノ一一依リ第三債務者ヨリ給付ヲ受ケタル通貨ハ督促手數料、延滯金、滯納處分費及稅金ニ充テ尙殘餘アルトキハ之ヲ滯納者ニ交付ス」ト云フ一般原則ノ次ニ、斯ノ如キコトヲ規定致シマシテ、賣却シタル物件ガ抵當證券ヲ發行シタル抵當權ノ目的物デアリマシテ、第三條ノ證明ト申シマスノハ只今説明申シマシタ公正證書ヲ以テスル證明デアリマス、此第三條ノ證明ヲ爲スベキ抵當證券ノ所持人ガ稅務署ノ方デ明カニ分ラナイ場合ニ於キマシテハ、其賣却致シマシタル不動產ノ代金ノ中カラ督促手數料、延滯金及滯

納處分費ヲ徵シマシタ殘額ヲ茲ニ出シ付スキ債務額及徵收スキ稅金ニ満額ハ之ヲ暫ク政府ノ方ニ交付スベキ金額ハ之ヲ暫ク政府ノ方ニ保管シテ置ク、サウ致シマスト、其保管シテ居ル間ニ於テ若シ債權者ガ其稅務署ニ於テ不動產ヲ公賣シテ、其金額ノ代金ノ一部ヲ保管シテアルコトヲ知リマスレバ、第三條ノ手續ニ依リマシテ、其保管シタル金額ヲ御取りニナルコトガ出來ルノデアリマス、併ナガラソレヲ何時マデモ待ツテ居マリスト稅務署ノ處分ガ何時マデモ未確定ニ殘ルコトニナルカラ、債權ノ辨濟期限ノ四箇月ヲ過ギマシテモ、尙ホ其第三條ノ證明ヲスル者ガナイ時ニハ、モウソコデ打切りマシテ、其保管シタル金額ヲ稅金ニ充テ、シマフト云フ考デアリマス、尙其債權ノ辨濟期限ガ非常ニ長キニ至リマシテ、五年モ十年モ掛リマス云々ト、債權ノ辨濟期限ノ四箇月ヲ過ギル

○大崎委員 先日大體ノ質問ノ時ニ、此抵當證券法ガ施行セラレルト同時ニ、抵當證券ニ依ル所ノ資本利子稅ノ徵收方法ガ、ドウモ曖昧ニナリハセヌマスケレドモ、今日丁度青木サンガ御出デニナツタヤウデスカラ御答辯ヲ願ニ瓦リマシテ、五年モ十年モ掛リマス云々ト、債權ノ辨濟期限ノ四箇月ヲ過ギルヒタイト思ヒマス

○小川政府委員 此間ノ御質問ガ、實マデ待ツテ居ルコトハ、國稅徵收ノ上ニ於テ、何時マデモ事案ヲ未確定ニシテハハツキリ致シマセヌデシタ、ソレニ時置ク譯デアルカラ、最後ニ規定ヲ設ケテ、其不動產ヲ賣却シマシタ後二箇年經過致シマスト、假令債權ノ辨濟期限内デアリマシテモ、其保管シタ金ヲ稅金ニ充テルト云フ趣旨デ、此度改正案ヲ提出致シマシタ、是ハ全ク抵當證券カ、例ヘバ資本利子稅ナドヲ取ルニ困

理由デアリマス、尙ホ初メノ債務者ノ方カラ言フト、抵當證券ヲ設定致シテ、誰ニ其債權ヲ讓渡シタカト云フコトヲモ、次カラ次ヘ調ベテ行クコトモ出來マスカラ、債務者ノ方カラト、

債權者ノ方カラ調ベレバ相當ニ捕へ得ルト考ヘルノデアリマス、調査ノ上ニ

困難ガアルト言ヘバ、多少困難ガアル

デアリマセウケレドモ、課稅上ニ於テ、

全然捕へ得ナイト云フ譯デハアリマセ

ヌ、サウ云フコトデアリマスカラ、御

話ノ資本利子稅ニシテモ、第三種所得

稅ニ致シマシテモ、稅務署ノ方カラハ

相當ニ調ベテ行カレルト云フ自信ヲ有

ヲテ居リマス、隨テ稅法ノ改正トカ、其

他稅ノ徵收ニ付テノ影響ハナイト考ヘ

テ居ル次第デアリマス

○荒川委員長 ソレデハ名川君、板谷

君ヨリノ御希望モアリマスカラ、今日

ハ此程度デ打切リマシテ、明日ハ午後

正一時カラ開會致シマス、サウシテ關

聯セル諸案並ニ進行致セバ貯蓄銀行法

案、無盡業法案ニモ及ビタイト思ヒマ

ス、明日ハ一時カラヤッテ、成ベク早ク

切上グマス、ソレカラ今日程度ノモノ

ハ明日デ終リマシテ、明後日ハ各派ニ

於テ御協議モアリマセウカラ、進行次

第一日休ミマシテ、三月二日ノ朝討

議ヲ致ス積リデアリマス、斯様ニ思ヒ

マス、ドウゾ其旨御承知下サッテ御進行

午後四時十分散會